

VIII 文化財保護

1. 有形文化財

(1) 建造物

①国指定重要文化財(建造物)「銘苅家住宅ほか2棟」保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 伊是名村
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 経年による緩みが著しい石牆の積み直し工事及び経年による中門の屋根の葺き替え工事を行った。
 事業費総額 : 17,377千円

	平成23年度
村負担額	2,608千円
県補助額	868千円
国庫補助額	13,901千円
合計	17,377千円

②国指定重要文化財(建造物)「新垣家住宅主屋ほか6棟」保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 新垣和子ほか9名
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 平成21年度の登り窯解体格納調査事業に引き続き、経年による腐朽の著しい主屋や作業場、離れ等の保存修理事業を行った。
 事業費総額 : 80,000千円

	平成23年度
市補助額	6,000千円
県補助額	6,000千円
国庫補助額	68,000千円
合計	80,000千円

③国指定重要文化財(建造物)「津嘉山酒造所施設主屋及び廻屋」保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 合資会社 津嘉山酒造所
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 主屋兼工場に先行して、経年と蟻害による木部の腐朽が著しい廻屋の保存修理を実施し、解体及び格納調査を行った。
 事業費総額 : 24,000千円

	平成23年度
所有者負担	1,200千円
市補助額	1,200千円
県補助額	2,400千円
国庫補助額	19,200千円
合計	24,000千円

④県指定有形文化財(建造物)「新盛家住宅」保存修理事業

事業種別 : 県単独補助事業
 事業主体 : 竹富町
 事業の目的 : 県指定文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 経年による屋根の茅及び木部の腐朽が著しく、地元自治会協力のもと茅、垂木など地産材料で屋根の葺き替え工事を行った。
 事業費総額 : 5,442千円

	平成23年度
所有者負担	2,721千円
県補助額	2,721千円
合計	5,442千円

(2) 美術工芸

① 在外沖縄関連文化財調査

事業総額：596千円

事業種別：県単独事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日

調査目的：琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した、琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。

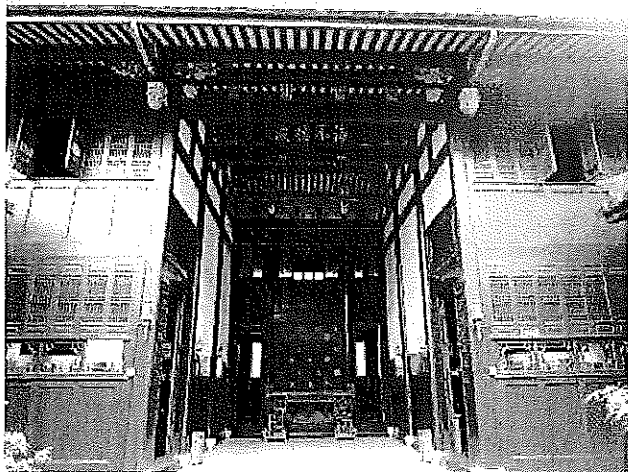
1990年に欧米にある沖縄関係文化財から始まった同調査は、2004年から2006年に北京故宮博物館での調査によって、多数の沖縄の文化財や関連資料を発見することができ、本県の文化的遺産の体系的把握とともに中日の学術交流に多大な成果をもたらしている。

事業概要：平成23年度は琉球と関わりの深い福建省で調査を行うための事前調整及び情報収集を行った。福建省人民政府外事弁公室の協力のもとに、福建省文物局、福州市文物管理局、福建師範大学、福州市立博物館調査、泉州海外交通史博物館で業務を遂行した。沖縄県の調査について、福建省の関係機関はおおむね友好的であった。

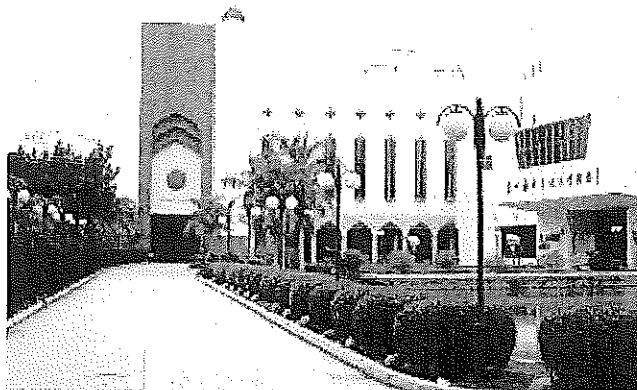
次年度以降は収集した情報をもとに、調査事業を本格的に行っていきたい。

事務局：萩尾 俊章（沖縄県教育庁文化財課文化財班長）

平川 信幸（沖縄県教育庁文化財課文化財班主任）



琉球館館内



泉州海外交通史博物館 正面

② 琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：12,033千円（国9,600千円、県295千円、市2,138千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成23年4月25日～平成24年3月30日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝と

して指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

尚家文書は、1995年に寄贈を受けて以来、調査・展示、マイクロ撮影等を行ってきたが、膨大な資料群の中には破損状態がひどく、展示公開に耐えられない状態のものも多く、また内容調査のためにマイクロ撮影を行うにも頁を開くことさえ難しい状態のものも少なくない。さらに王国解体後は東京に持ち運び保管してきた尚家で修理・合本などの手が加えられたものも多数あり、修復知識のない状況で行われた修理が、現在では資料自体に悪影響を及ぼしているものも見受けられる。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分 1,166 件のうち、損傷状態の激しい文書（特Aクラス）3 点を含む計 9 点の修理を行う。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

(3) 銃砲刀剣類の登録

① 沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

* 沖縄県教育委員会委嘱 (任期平成22年4月9日～平成24年3月31日)

大嶺 信義 (刀剣研究家)

上原 正人 (刀剣研究家)

兼濱 清周 (刀工)

② 登録審査会

日 時：平成24年2月23日(木) 14:00～17:00

場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数：4件 (内訳：刀2、脇差し2)

登録証交付件数：4件 (内訳：刀2、脇差し2)

登録証再交付申請：0件 (内訳：刀0)

③ 登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	2	2	
	脇 差 し	2	2	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		4	4	

④ 証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料 (新規登録)	4	6,300円/件	25,200円	
審査手数料 (再 交 付)	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計	4		25,200円	

⑤ 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	2	2
相 続	0	2	2
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
(発見届)	(0)	(2)	(2)
合 計	0	4	4

2. 無形文化財

(1) 芸 能

①重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額:15,403千円(国13,676千円、県328千円、保存会1,399千円)

実施方法:国・県補助による伝統組踊保存会直営事業(会長:島袋光晴)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を前期、後期に分けて行った。

事業期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日

研修発表会:期日、内容、配役等は下記のとおり。

【前期】平成23年9月11日(日) 国立劇場おきなわ 14時開演

1) 古典音楽斉唱 かぎやで風節・ご縁節・揚作田節

〔歌三線〕前原信喜 新城治 喜名進 仲宗根盛次 新城雄一 山城充幸 金城善雄

大城次男 仲嶺伸吾 糸数一雄 瑞慶覧長仁 濱元盛爾 瑞慶覧長孝 宮里敏則

照喜名朝国 徳村朝昭 大城幸雄 浦崎直邦 諸見里安昭 座波洋平 前村治

大城次郎 謝敷アンヘル 照喜名朝国 玉城直樹 浦崎芳郎 源河徳淳 幸喜信明

大城竹秀 運天伊作 横目大哉 花城英樹 松本紀 大嶺雅規 西村勉 金城力

上原睦三 新垣博史 島袋朝夫 仲原善光 大田陽則 砂川昌轍 比嘉寿朗

宮里政栄 山川雅之 沖充 大城豊幸 玉城和樹 平川善喜 目取眞永良

玉栄眞光 宮城豊 金城繁 銘苺良光 玉城秀木 石川親助 平良薫 宮里究一

田港朝弘 伊禮英厚 金城正光 渡久山春憲 安次嶺正雄 東恩納武 宮城幸盛

玉城秀治 佐久本盛明 譜久原朝次郎

〔 箏 〕玉城弥生 大城幸枝 与座末子 玉城明子 新屋のり子 前田理子 大道タケ子

上間千枝子 喜久村克子 田港あゆみ 松永敬子 西村富子 米須弥生

久手堅直子 東江朝子 上原妙子 天久洋子 石川洋子 宮平榮子 宮城泰子

〔 笛 〕上原政市 喜友名隆 宮城英夫 我那覇常允

〔 胡弓 〕川平賀道 嶺井敦弘

〔 太鼓 〕国場秀治 福原敬

2) 組踊「女物狂」

〔指 導〕立方:眞境名正憲 歌三線:新垣万善

箏:高良時江 笛:宇保英明 胡弓:新城清弘 太鼓:宇座嘉憲

〔非出演者の指導〕立方:比嘉良雄 赤嶺正一 儀保政彦

歌三線:前川朝文 大城米雄 仲村一雄 大城長俊 首里良三

箏:高良時江 山内照子 笛:宇保英明 太鼓:宇座嘉憲

〔配 役〕人盗人(宇座仁一) 亀松(堀川裕貴) 母親(佐辺良和) 座主(天願雄一)

小僧1(宮里徹雄) 小僧2(岸本隼人) 童子1(阿嘉菜々子)

童子2(伊泊姫奈) 童子3(仲宗根萌)

道行人(前當正雄) きゃうちゃこ持(宮里光也)

〔地 謡〕歌三線:砂辺孝真・金城幸浩・玉城利和・仲村昌光・新垣和則・宮平光英

箏:比嘉玲子・野里葉子 笛:喜舎場孫好・照屋正
胡弓:榮野元弘・宇江城榮 太鼓:横目大通

3)組踊「銘苺子」

[指 導]立方:宮城能鳳 歌三線:西江喜春

箏:安里ヒロ子 笛:大湾清之 胡弓:山内秀雄 太鼓:喜舎場盛勝

[非出演者の指導]立方:糸数昌益 嘉手苺林一

歌三線:岸本吉雄 大城助吉 照喜名朝一 金城武信 玉城正治
金城清雄

箏:安里ヒロ子 宮城秀子 笛:大湾清之 胡弓:山内秀雄
太鼓:喜舎場盛勝

[配 役]銘苺子(石川直也) 天女(新垣悟) 思鶴(山城峻弥)

亀千代(山内昌臣) 上使(川満香多) 供一(西門悠が雅) 供二(玉城匠)

きやうちゃこ持(宮里光也) 後見(宮城昭博)

[地 謡]歌三線:照喜名進・上間宏敏渡名喜康広・上地正隆・神谷大輔・與那国太介

箏:神谷和枝・手登根廣美 笛:入嵩西諭・宇保朝輝

胡弓:石川清二・東江桑雄 太鼓:天久祥

【後期】平成23年11月20日(日) 国立劇場おきなわ 14時開演

1) 古典音楽斉唱 かぎやで風節・恩納節・辺野喜節

[歌三線]池原憲彦 大湾朝重 宮原弘和 下茂門勝 島袋盛一 渡久山英男 金城清一
勝連繁雄 新垣俊道 中牟田逸夫 伊禮英厚 渡久山春憲 安次嶺正雄 東恩納武
宮城幸盛 譜久原浅次郎 與儀政俊 浜比嘉宗一 新垣浩 上原信浩 松田邦昭
松田幸弘 比嘉敏雄 喜瀬学 小渡常雄 知花昌誠 新垣一雄 宮城起
玉那覇昭二 平良晨一 与那嶺豊 宮城竹茂 上地政春 赤嶺武志 小嶺長則
銘苺盛隆 吉本博昌 新地孝一 上間克美 金城光信 宮城厚博 崎浜秀貴
平川善喜 目取眞永良 玉栄眞光 宮城豊 石川親助 福地優 比嘉謙次
江洲眞徳 佐久本兼和 宮城澄雄 上原宗真 新城康弘 多和田眞一 玉城巖
宮城勝秀 大宜味朝和 新里光雄 神田米三 又吉章盛 下地康雄 山城政俊
城間辰彦 新屋武 城間盛秋 崎濱秀光 長浜眞勇 宮城操 大代英雄 松田盛
比嘉康夫 比嘉三男 平田旭 喜納吏一 仲村渠達也

[箏] 島袋八重子 玉城弥生 仲嶺貞夫 赤嶺和子 上地七重 美里登喜子 桃原和枝
平良マサエ 仲村和子 比嘉淳江 白金晴香 長田綾子 國吉裕子 田島直美
眞喜志美奈子 渡嘉敷彰子 屋比久和子 宮里秀明 山田和子 池間北斗
波平エミ子 根本良子 安慶名久美子 名護みのり 仲宗根玲子 仲大千咲
運天美和子 米須好子 与座末子 上間千枝子 久貝栄喜

2)組踊「花売の縁」

[指 導]立方:島袋光晴 金城清一 歌三線:宮城康明 箏:上地尚子

笛:嘉数世勲 胡弓:銘苺春政 太鼓:喜舎場盛勝

[非出演者の指導]立方:島袋光晴 金城清一 海勢頭あける

歌三線:城間徳太郎 玉城政文 知花清秀 喜瀬慎仁 宮城康明
山城暁 比嘉康春
箏:上地尚子 上原綾子
笛:嘉数世勲 胡弓:銘苺春政 太鼓:喜舎場盛勝

[配 役]森川の子(平田智之) 乙樽(宮城茂雄) 鶴松(比嘉克之) 猿引き(天願雄一)
猿(周東秋馬) 薪取(大湾三瑠)

[地 謡]歌三線:金城宗吉・末吉政利・城間盛久・稲嶺盛律・神谷乗成・上原宗勝
箏:屋嘉比桂子・喜屋武初江 笛:仲田治巳・大城聖
胡弓:又吉真也・比嘉清 太鼓:久志大樹

3)組踊「孝行の巻」

[指 導]立方:親泊久玄・真境名律弘 歌三線:照屋勝義 箏:宮城秀子・山内照子
笛:知念久光 胡弓:新城清弘 太鼓:宇座嘉憲

[非出演者の指導]立方:高江洲清勝 真境名律弘 比嘉丈芳

歌三線:島袋正雄 松田健八 島袋英治 喜友名朝宏 照屋勝義
箏:宮城秀子・山内照子 胡弓:新城清弘 太鼓:宇座嘉憲

[配 役]男子(仲村圭央) 姉(嘉数道彦) 母(伊野波盛人) 頭取(親泊邦彦)
時の大屋子(呉屋智) 高札持(當山力) 供1(比嘉吉保) 供2(稲福清彦)
供3(山崎啓貴) 後見1(蛇操作:平田智之) 後見2(蛇操作:大代常政)

[地 謡]歌三線:高江洲昌市・島袋功・仲順利治・糸数昌治・諸見川和男・金城繁
箏:米須幸子・上地律子 笛:崎原盛次・眞地利尚
胡弓:崎原盛勇・稲嶺一夫 太鼓:金城睦昭

②重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額:7,260千円(国7,000千円、県156千円、保存会104千円)

実施方法:国補助による琉球舞踊保存会直営事業(会長:玉城節子)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間:平成23年4月1日～平成24年3月31日

研修会:期日、内容等は下記のとおり。

平成23年度研修 第1回研修 演目:「作田節」(本年度課題)

平成23年12月22日(木) 沖縄市民会館 13時～18時30分

① 親泊興照グループ(指導者:親泊久玄)

舞踊:親泊邦彦

三線:銘苺盛隆、宮城武碩、吉本博昌(野村流音楽協会)

箏:仲田美智子(興陽会) 笛:知念久光 胡弓:新城 清弘

② 宮城能造グループ(指導者:宮城能鳳)

舞踊:根路銘広美

三線:首里良三、砂辺孝真、新城雄一、仲宗根盛次(野村流伝統音楽協会)

- 箏：宮城光子（保存会） 笛：喜舎場 孫好 胡弓：崎原 盛勇
- ③ 眞境名由康グループ（指導者：眞境名直子）
舞踊：比嘉さつき
三線：糸数善昭、城間盛久、下茂門勝、喜納昌盛（野村流古典音楽保存会）
箏：比嘉淳江（保存会） 笛：仲田 治巳 胡弓：又吉 真也
- ④ 比嘉清子グループ（指導者：大城政子）
舞踊：津波 明子
三線：仲原善光、上地正隆、金城武、島袋朝夫（安富祖流）
箏：野里葉子（興陽会） 笛：我那覇 常允 胡弓：川平 賀道
- ⑤ 田島清郷グループ（指導者：志田房子）
舞踊：志田真木
三線：照喜名進、宮里敏則、照喜名朝國、照喜名朝之（安富祖流）
箏：島袋八重子 笛：宇保 英明 胡弓：川平 賀道

平成23年度研修 第2回研修 演目：「作田節」（本年度課題）

平成24年1月18日(水) 沖縄市民会館 13時～17時30分

- (1) 眞境名佳子グループ（指導者：宮城幸子・喜納幸子）

①宮城幸子門下

舞踊：宮城りつ子 箏：知念佐代子（興陽会） 笛：喜舎場孫好

胡弓：祖堅信義

三線：宮城康明・大湾朝重・末吉政利・宇栄原宗勝（野村流）

②喜納幸子門下

舞踊：喜納かおり 箏：上間千枝子（保存会） 笛：喜舎場孫好 胡弓：祖堅信義

三線：宮城康明・大湾朝重・末吉政利・宇栄原宗勝（野村流）

- (2) 玉城盛義グループ（指導者：玉城秀子・玉城節子・谷田嘉子・金城美枝子・又吉静枝）

①玉城秀子門下

舞踊：玉城美千子 箏：仲松恒子 笛：我那覇常允 胡弓：川平賀道

三線：照喜名進・照喜名朝國・照喜名朝之・上原睦三 指導者：照喜名朝一

②玉城節子門下

舞踊：神山穂紫乃 箏：久手堅直子 笛：我那覇常允 胡弓：石川清二

三線：上原聡・新垣安弘・宮里敏則・平田邦夫 指導者：照喜名朝一

③金城美枝子門下

舞踊：山川昭子 箏：石川洋子 笛：我那覇常允 胡弓：川平賀道

三線：濱元盛爾・上間宏敏・金城力 指導者：金城武信

④谷田嘉子門下

舞踊：金城奈津子 箏：神谷和枝 笛：我那覇常允 胡弓：石川清二

三線：宮里政栄・幸喜信明・源河徳淳・花城英樹 指導者：玉城正治

⑤又吉静枝門下

舞踊：又吉聖子 箏：大道タケ子 笛：我那覇常允 胡弓：川平賀道

三線：仲嶺伸吾・金城武・糸数一雄・島袋朝夫 指導者：大城助吉

(3) 島袋光裕グループ (指導者: 島袋光晴・佐藤太圭子)

①島袋光晴門下

舞踊: 比嘉睦江 箏: 喜久村克子 笛: 知念久光 胡弓: 又吉真也

三線: 山城暁・田港朝弘・新垣浩・渡久山英男 (野村流・保存会)

(4) 佐藤太圭子門下

舞踊: 皆川律子 箏: 吉田登美子 (保存会) 笛: 座波雪子 胡弓: 又吉真也

三線: 新城治・玉城利和・金城幸浩・山城充幸 (野村流・伝音協会)

③県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額: 1,232千円 (県680千円、保存会552千円)

実施方法: 県補助による琉球歌劇保存会直営事業 (会長: 森田豊一)

事業内容: 伝承者養成の研修会を行い、成果発表会を行った。

事業期間: 平成24年1月25日～平成24年3月23日

研修発表会: 平成24年3月23日(月) 国立劇場おきなわ小劇場 14:30開演

演目: 歌劇「泊阿嘉」「薬師堂」「奥山の牡丹」「中城情話」の名場面の抜粋

指導: 玉城伸・大城光子・瀬名波孝子・伊良波冴子・吉田妙子

仲嶺眞永・平良進・北村三郎・真栄田文子

(地謡指導) 登川誠仁・上江洲由孝・徳原清文 (監修) 森田豊一

研修者: 踊り方

伊良波さゆき 糸数清 金城真次 久米ひさ子 高宮城実人 知名剛

中曾根律子 西門悠雅 春洋一 山川宗春

地謡

具志幸大 平田旭

④県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額: 300千円 (県100千円、保存会200千円)

実施方法: 県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業 (会長: 前川朝文)

事業内容: 伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行った。

事業期間: 平成24年1月10日～平成24年2月16日

研修会: 平成24年2月7日(火) 国立劇場大稽古室

平成24年2月16日(木) 国立劇場大稽古室

伝承者: 宮城操、大城英雄、宮里宏、銘苅良光、松川亨、仲嶺盛文、神田久男
仲順利治、佐久本嘉夫、桃原廣榮、宮里武廣、伊波政光、城間盛秋
仲尾善勝、大宜味朝和、佐喜真光雄、伊佐ヒサ子、与座順光、高江洲昌市
小嶺長則、新崎盛忠、小渡良盛、浦崎直吉、糸数昌治、渡名喜庸、濱里長希
宮城厚博、吉野久一、宮城豊、松田盛、下地康雄、島袋進孝、上門正光
安慶名盛一、平川善喜、池原盛光、徳門清春、山城正俊、徳原清文
多和田真一、幸地堅吉、赤嶺勝巳、兼島兼良、大城昭成、安慶名榮
山城善吉、喜友名朝清、池宮城克成、普天間安弘、伊計和夫、佐久本兼和
玉栄真光、渡慶次淳、中村正幸、伊良皆勇吉、新地孝一、新城敬一、仲程忠
池原憲勝、比嘉秀昭、島袋功、吉本博昌、仲宗根朝儀、當間正義
伊野波盛健、神谷繁和、金城栄徳、新城永文、勝田宗和、前田傳松、金城茂
小那覇安陸、屋宜盛一、キース仲兼久、ノーマン金城、儀間剛、仲本喜至
金城清一、比嘉義勝、野原廣信、久高将寛、知花昌誠、玉那覇昭二、金城勉
東恩納武、宮城赳、渡久山春憲、宮城修、宮城幸盛、伊波三郎

普久原朝次郎、新垣浩、浦崎清子、稲嶺盛律、喜瀬学、上原宏子、上地弘子
糸数春美、上原トミ子、松田邦昭、宇栄原宗勝、田港朝弘、伊禮均
仲宗根裕 神田朝和、中村一史、安次嶺正雄、新垣親栄、池原朝雄
浜比嘉宗一、田場典明、渡真利清吉、仲村修博、豊川英健、上原良秀
黒島惇、比嘉聡、与儀正俊、新垣晃久、宇根良則、神谷清一、宮城信子
新井勝巳、高那真盛、比嘉俊雄、糸数正男、座安清喜、瑞慶覧長良
大城次郎、宮城善徳、大城喜功、潮平浩佑、浦崎直邦、上原昌栄、仲程寶雄
神谷清吉、太田隆健、座波朝正、比嘉初江、吉本重雄、具志盛義、中村昌光
仲宗根巴津美、島袋久、宮平弘和、崎原盛次ぐ、渡慶次淳、與那嶺雄誠
伊波正博、照屋健、當間嗣友、伊波政光、和宇慶正雄、高良利雄
柳アリソン徳子、比嘉敏子

⑤県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額:309千円(県100千円、保存会209千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業(会長:照喜名朝一)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(8回)を実施した。

事業期間:平成23年4月16日～平成24年3月30日

研修会:平成23年4月～平成24年3月 国立劇場おきなわ稽古室(実技研修)

平成23年6月15日 沖縄県立博物館美術館1階講座室(講義研修)

講師:當間一郎(特別講演会「伝統音楽安富祖流と宮里春行師」)

伝承者:比嘉元太、喜屋武肇、平田永哲、宮良圭蔵、上原常宏、上間宏敏
安仁屋友彦、新屋勝正、瑞慶覧長仁、村田定弥GURANT
玉堂昭夫ケンテン、新城亘、池原佳恵、平良萬吉、喜屋武博、喜久村元
金城朝昭、玉城成輝、沖充、東江衆雄、金城武、伊禮得守、大城進昭
花城吉治、田港保弘、宮里幸夫、嘉陽田朝純、上地正隆、渡名喜康広
野底忠、太田陽則、嶺井敦弘、真喜志敏子、中村正盛、知花柳盛
濱元盛爾、島袋元一、与那嶺茂春、赤嶺美枝子、富原守信、稲福義男
宮城能慎、糸数一雄、浦崎康信、照喜名進、宇栄原宗徹、瑞慶覧朝孝
成田源幸、仲盛康、西村勉、宮里敏則、座波千代子、比嘉静子
比嘉順実、赤嶺幸喜、又吉由美子、與那原良英、宮城能正、新木孝三郎
嘉数三郎、神谷博和、伊泊辰夫、濱元智隆、仲嶺伸吾、山根安行、
新垣安弘、照喜名朝之、照喜名朝国、石川清二、島袋朝夫
仲宗根ヨシ子、比嘉真三、金城盛夫、上原達雄、我那覇留美子
喜納潤一、與座盛康、上原源三、上原聡、阿良行晴、川平賀道
仲原善光、城間恒子、安富祖忠章、小浜博文、笹谷正一、宮里一人
桃原弘三郎、赤嶺正男、上原敏通、糸数宝通、喜名正勝、嶺井政仁
上原民源、新川光男、安森晃、座安清規、佐久本盛正、新盛直一
大嶺雅規、岸本隼人、金城康昌、大城久昇、平田邦夫、上原睦三
照喜名智、我那覇常充、内間繁、宮里政栄、富名腰須賀江、赤嶺良雄
具志堅いち、島袋儀夫、富名腰乃、金城力、松本紀、岸本剛、山川雅之
花城秀樹

⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額:359千円(県100千円、保存会259千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業(会長:上地尚子)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(3回)、並びに実演家による特別
講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間:平成23年6月20日～平成24年3月30日

研修会:平成23年7月16日(土)、10月19日(水)、平成24年3月7日(水)

国立劇場おきなわ稽古室(実技研修)

特別講演会:平成24年3月7日(水) 国立劇場おきなわ大稽古室

講師:喜瀬慎仁(特別講演会「文化交流使の任務を終えて」)

伝承者:喜納順子、當間スミ、仲真竹子、新城幸子、名幸理美子、儀間武子
中島絹枝、宮城園子、前田利子、許田恵美子、前田千代子、松堂和子
新垣涼子、崎山文子、具志堅孝子、知名勝江、東江朝子、山内照子
大道タケ子、山田和子、名嘉ヨシ子、神谷和枝、上地律子、石川洋子
仲宗根巴津美、知念佐代子、手登根廣美、宮良まさみ、島袋芳子
嘉数カツ子、東恩納郁子、山城芳枝、国吉清子、久田ヨシ子、粟国郁子
新垣宜子、喜久村克子、平良マサエ、上間千枝子、中村美智子、城間良子
具志堅初美、比嘉淳江、比嘉博明、比嘉玲子、屋嘉比桂子、上地七重
比嘉トキ、崎原展子、新田邦子、松田勝子、宇良タカ子、森田薫
崎原のり、吉原裕子、高江洲初子、野村時子、玉城弘子、名嘉真直子
仲間頼子、沢岨京子、比屋根安子、新垣晴子、仲村貞子、山城カズエ
美里登喜子、上地吉子、仲本泰子、山城ヨシ子、長田京子、仲宗根順子
中村富子、上間節子、名嘉ハツ、波平エミ子、伊波治代子、諸見里キミ
山内光子、安里恵美子、牧港和子、山川幸子、中山民子、米須幸子
比嘉敏江、与座末子、高江洲順子、佐渡山久江、久手堅順子、知花喜子
宮城秀子、神谷広美、宮城ミサ子、宮里秀明、大城レイ子、山川ヤス
翁長ミサ子、知名初枝、新本澄子、比嘉良子、島袋喜美子、大城仁子
桃原フミ子、比嘉美恵子、桃原和枝、松永敬子、末吉弘子、大城律子
仲村和子、喜屋武初江、渡久山美智子、山城真理子、金城君江

(2) 工芸技術

① 重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,578千円(国7,000千円、県200千円、村374千円、保存会4千円)

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会(会長：平良 敏子)

事業期間：平成23年6月1日～平成24年3月21日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 技能保持者3人、修了生5名で、平成22年度までの受講生7名と新人1名を加えた8名を対象に個人個人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き、3) 染色、4) 緋結び、
- 5) 製織、6) 撚り掛け・整経、7) 洗濯・仕上、8) 座学、
- 9) 苧績み、10) 糸くり、11) 管巻き

② 久米島博物館の資料や展覧会、全重協秀作展、たとう紙等の視察研修を行った。

(2) 資料収集整理事業

① 古芭蕉布の仕立て直し業務を委託した。

(3) 技術研究事業

① 大分県日田市「広瀬淡窓資料館」に収蔵されている火事羽織を調査した。

② 琉球王府時代の女性の中着芭蕉布裙(カカン)を製作を依頼し、購入した。

(4) 原材料・用具の整備事業

① 良質の糸芭蕉を確保するため、川床工事やイノシシ被害による芭蕉畑のフェンス設置、芭蕉畑除草の委託を行った。

② 染色用鍋を購入した。また、古い竹箴を購入し、竹箴保存会に補修を依頼した。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	平良 敏子	仲村要子	内藤京子
	平良美恵子	得平智子	吉田木綿
	辺土名加代子	大城絹恵	金城直美
	翁長洋子	松本勝枝	山城薫
	平良京子	加藤泉	
	宮城涼子		
	大城章子		
	當間廣子		
	桃原秋子		
	稲福千代子		
	山城良子		
	金城秋子		
	山城秋子		
	平良テル		
	仲田勝子		
	大山悦子		

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,794千円(国8,000千円、県179千円、市500千円、保持団体115千円)

実施方法：国・県・平良市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体(代表者：新里 玲子)

事業期間：平成23年6月2日～平成24年3月30日

場 所：会員の自宅・工房

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①本年度は伝承者を増員し、手括り（講師1名、伝承者1名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師2名、伝承者2名）、砧打ち（講師1名、伝承者1名）の4部門において実施した。

また、外部講師を招いて各工房の藍の状態の確認や染色についての講義、机上実験等を実施した。

②久米島紬、小千谷縮・越後上布、琉球緋、機製作所等の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上布（古布）を資料として購入した。

(3) 技術研究

大正・昭和時代を代表する下地恵康氏らの緻密で絵画的な手括り宮古上布の再現を行う。今年度は凶案起こしと経緋（1～60番）の手括りを委託した。

(4) 原材料・用具の確保

砧台を2台購入した。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	下地達雄	下里愛子	荷川取ひろみ
	豊見山カツ子	長濱政子	

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,227千円（国8,000千円、県100千円、町54千円、
保持団体73千円）

事業期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日

場 所：ユイマール館

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、3名の講師で伝承者10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日2～3日の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各3名の講師でケンネル（座繰り機）等での糸作り、作った真綿からの糸ひき、撚糸機による撚りのかけ方等の講習を行った。

④外部講師として祝嶺恭子氏に依頼し、ベルリンにある久米島紬について等の講義を受けた。

⑤那覇市伝統織物事業協同組合、うらそえ織、沖展等の関連文化財視察を行った。また、沖縄県立博物館・美術館では古い久米島紬の調査研究を行った。

⑥早朝の泥染め作業や保持者の作品の記録、古い久米島紬の調査の際の撮影等、伝承者養成や技術研究に活かすため、マクロ撮影及び夜間の撮影にも耐えられるデジタルカメラを購入した。

(2) 原材料・用具の確保

①真綿からの糸引き道具、足踏み式手紡機の製作を委託した。

②電動式手紡機の整備・修繕を行った。

③養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	山城宗太郎	山城智子	我那覇ケイ子
	桃原禎子	平田とき子	古堅ヨシエ
	宮平トシ子	神里智江	島袋佐枝
	神里節子	大田広美	儀間勝枝
	幸地綾子	吉永ルリ子	佐久田康子
	桃原美枝		
	山城ハツ		
	儀間雪子		

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,255千円（国1,106千円、県225千円、町100千円、保持者824千円）

事業期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

事業内容：泥藍の製造技術と藍葉の生産を継承する。良質な泥藍の製造は藍葉の育成状況で決まるので、藍葉の栽培管理の研修に重点をおき、土壌の改良や除草の管理を入念に行った。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	伊野波盛正	比嘉清司	玉城昭正
		仲村浩	小橋川茂

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,515千円（国6,000千円、県105千円、町400千円、保存会10千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍農家の畑

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①伝承者2名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

- 1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、6) 沈殿・濾過

②阿波藍の視察研修を行った。

③来年度以降、藍製造の際に記録を取り、今後の伝承者養成に活かすため、PH測定器の購入を行った。

(2) 技術技能の錬磨事業

藍草の栽培について、会員6名の技術技能の錬磨を行った。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	伊野波盛正	竹山安秀	仲西利夫

ウ) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円(国10,000千円、県120千円、保存会160千円)

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会(会長：神里佐千子)

事業期間：23年4月1日～24年3月30日

場所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①宮古上布の原料となる苧麻の栽培から、整経までの5工程を17教室(平良5、下地6、上野2、城辺2、伊良部1、多良間1)において講師1名、研修生5～11名で実施した。研修の内容は以下の通りである。

1) 苧麻栽培・収穫、2) 繊維剥ぎ取り(苧麻の表皮)、3) 糸績み、4) 撚りかけ、5) 整経

②他産地の視察研修(小千谷縮・越後上布、久米島紬、琉球緋、手機製作等)を行った。

(2) 技術・技能の錬磨事業

苧麻績み指導の基本部分を統一するために講師の勉強会を開催した。

(3) 記録の作成及び刊行事業

講師の勉強会での成果を基に技術者用教本を作成した。

(4) 研修発表事業

伝承者・会員の成果品の展示会を開催。展示・実演用に苧麻糸、苧麻績み道具を購入し、道具一式の運搬用木箱を製作した。

(5) 原材料・用具の確保事業

破損した備品(糸車)の修繕を実施した。

(6) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,706千円(国1,106千円、県170千円、保持者430千円)

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政(保持者)

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成23年4月2日から平成24年3月30日

場所：大城織機製作所

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機(織機)を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機(織物)技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円(県320千円、保存会106千円)

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会(代表：城間 榮順)

事業期間：平成23年10月3日～平成24年2月28日

場所：各保持者工房

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型(白地型びん型・返し型びん型・染地型びん型・臍型びん型・二重型びん型)。型紙を用いず糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型(風呂敷・幕・タペストリー)の何れかを染める。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	城間榮順	城間栄市	知念績人
	知念績元	喜友名速	
	喜友名盛蔵		

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：346千円（県266千円、保存会80千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺 恭子）

事業期間：平成23年11月2日～平成23年12月27日

場所：各保持者工房

事業内容：「手縞」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を祝嶺恭子・多和田淑子・ルバース吟子の工房において指導する。

- 1) 意匠設計作成、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊付け、
- 5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 綜統通し、
- 10) 箆通し、11) 織付け、12) 緯糸小認め、13) 緯糸拵括り、
- 14) 緯糸染色、15) 緯糸小管巻き、16) 製織、17) 整理仕上げ

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	祝嶺恭子	古屋英子	島袋幸恵
	多和田淑子	野原園子	玉木由香
	ルバース・ミヤヒラ吟子	金城桃子	金城麻希子

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県345千円、保存会103千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）

事業期間：平成23年10月1日～平成24年3月30日

場所：各保持者工房

事業内容：藍染めした糸を用いて着尺織りを指導した。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	比嘉恵美子	島袋明美	山田恵利子
	島袋秀	比嘉昌子	
	池原ケイ子		

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、市60千円、保存会46千円）

実施方法：県・石垣市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業期間：平成23年10月1日～平成24年2月29日

場所：保持者工房

事業内容：中村澄子氏の工房においては、着尺に統一し、講師の技を受講生の経験に応じて技術指導した。新垣幸子氏の工房においては、前年同様、苧麻の芋倒しから芋引き、紡ぎかたを講習の一環として組み込んだ。さらに、年間をとおして経、緯緋、紹織、花紹織、琉球王府時代に反数は少ないが縮布織の記録があり、この指導も行った。

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	新垣幸子	上地克江	秦和美
	中村澄子		

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県262千円、保存会87千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田 孝允）

事業期間：平成23年11月1日～平成24年3月25日

場所：保持者工房

事業内容：漆器の定番である尺盆に、昨年の伝承者である沈金2人と箔絵・螺鈿1人に継続して技術や技法ならびに琉球漆器の歴史や特性等を伝授。

沈金：1) デザイン、2) 彫り、3) 金入れ、4) ふきとり、5) 完成

箔絵：1) デザイン、2) 顔料にて置目描き、3) 図案転写、
3) 箔下漆で描く、5) 半乾燥後金箔貼り、6) 掃除、
7) 線描で仕上げ

螺鈿：1) デザイン、2) 貝切り、3) 貝に黒漆塗り、
4) 器物への貼付け、5) 掃除、6) 1回漆塗り、7) 研ぎ、
5) 2回漆塗り、9) 3回漆塗り、10) 研ぎ、11) 胴摺り、
12) 1回摺漆、13) 2回摺漆、14) 3回摺漆、15) 艶出し、
16) 仕上げ・完成

講師・伝承者：

年度	講師	伝承者	
平成23年度	金城唯喜	赤嶺貴子	國吉亮子
	前田孝允	前田栄	

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の葬制に関する総合調査事業

事業総額：5,000千円（国4,000千円、県1,000千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成23年4月1日から平成24年3月31日（平成21年度から平成23年度まで3年間継続）

事業目的：沖縄県には、火葬が定着する以前の龕、龕屋、旗等の葬具類とそれに係る葬制習俗が各地に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした葬制習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する葬具等の状態、文化財的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：1) 概要 調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が葬制習俗に関する総合調査を行った。また、平成21年度から平成23年度までの調査内容をまとめた報告書を刊行した。

2) 成果 『沖縄の葬制に関する総合調査報告書』（沖縄県文化財調査報告書第150号）

調査嘱託員：赤嶺政信（琉球大学教授）

上江洲均（元久米島自然文化センター館長）

稲福みき子（沖縄国際大学教授）

名嘉真宜勝（沖縄県文化財保護審議会専門委員）

崎原恒新（沖縄県文化財保護審議会委員）

下地和宏（宮古島市文化財保護審議会委員）

石垣博孝（石垣市文化財保護審議会委員）

調査協力員：8名

② 宜野座の八月あしびに関する総合調査事業

事業総額：1,320千円（国1,056千円、県100千円、村164千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：宜野座村

事業期間：平成23年10月7日から平成24年3月30日（平成22年度～平成25年度まで4年間継続）

事業目的：宜野座の八月あしびは、琉球時代の集落の豊年祭に、廃藩置県で零落した士族の芸能文化を取り込み明治29年に始まったとされ、宜野座ヌル殿内の神に芸能を奉納し、集落の繁栄と豊年を祈願している。平成七年十一月八日、国の「記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたが、総合的な調査はなされておらず、その実態把握は不十分なため、「宜野座の八月あしび」について、その芸能並びに民俗事象の全体の状況を把握するための基礎調査と、豊年祭（八月あしび）における芸能

等についての实地調査を行い、記録を作成する。

実施場所：宜野座村内、その他。

事業概要：1) 概要 「宜野座の八月あしび総合調査委員会」の委員を委嘱し、資料収集、聞き取り調査等を行い、宜野座の八月あしびの実態把握に係る基礎資料をまとめた。

調査嘱託員：大 城 学 (琉球大学法文学部教授、芸能研究家)
 宜 保 榮治郎 (国立劇場おきなわ常務理事、芸能研究家)
 知 名 幹 夫 (元宜野座村立博物館館長、郷土史研究家)
 大 城 義 和
 稲 福 政 斉

③第53回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,136千円 (県 500千円 団体636千円)

事業種別：県単独補助事業

事業主体：長浜区伝統芸能保存会

大会名称：第53回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成23年10月30日 (日)

開催場所：小林市文化会館 (宮崎県小林市)

派遣芸能：素朴ながらも勇壮活発な「作たる米」は、収穫を終えた農村の喜びをあらわす芸能で、左右に飛び跳ねる舞いや、稲をかつぐしぐさで後ずさりしながら終わる場面は、土に生きるたくましさが溢れ、圧巻である。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	やまみやじんじやはるまつ とも げいのう 山宮神社春祭りに伴う芸能	やまみやじんじやはるまつ とも げいのうほぞんかい 山宮神社春祭りに伴う芸能保存会
2	くすかぐら 玖珠神楽	くすかぐらじんぎしや 玖珠神楽神祇社
3	ほうがうら めんぶりゆう 母ヶ浦の面浮立	ほうがうらめんぶりゆうほぞんかい 母ヶ浦面浮立保存会
4	いなどうかぐら 稲童神楽	いなどうかぐらほぞんかい 稲童神楽保存会
5	チクタルメー 作たる米	ながはまくでんとうげいのうほぞんかい 長浜区伝統芸能保存会
6	くまかぐら 球磨神楽	くまかぐらほぞんかい 球磨神楽保存会
7	きばなすもうおど 木花相撲踊り	きばなすもうおど げいのうほぞんかい 木花相撲踊り芸能保存会
8	のぞきからくり	あかえちよう 深江町のぞきからくりほぞんかい 保存会
9	けんぶ いちのたに 剣舞「一の谷」	けんぶ いちのたに おむとくほぞんかい 剣舞「一の谷」麓区保存会

※ 九州各県から1団体、開催地宮崎県は2団体

4. 記念物

(1) 史跡・名勝

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計112件（平成24年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成23年度は国指定史跡「円覚寺跡」をはじめ、「糸敷城跡」、「玉城城跡」、「フルスト原遺跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「具志川城跡」（糸満市）、「知念城跡」、「浦添城跡」、「中城城跡」、「勝連城跡」、歴史の道「ハンタ道」、「玉城城跡」（平成22年度明許繰越）、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」で保存整備事業を実施した。史跡等整備活用推進事業は国指定史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」で実施した。史跡等土地買上げ事業は国指定史跡の「勝連城跡」と「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「伊江御殿別邸庭園」の先行取得償還で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡「山田城跡」、「伊礼原遺跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」で実施した。

①受託事業

発掘調査事業

「首里城跡」発掘調査及び資料整理、報告書刊行業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成23年度は「北城郭エリア」及び「御内原東区」・「淑順門東地区」の発掘調査を実施するとともに、「京の内地区」・「淑順門西側・奉神門前」の資料整理を行い、発掘調査報告書を刊行した。

事業主体：沖縄県

事業費：47,140千円

②国庫補助事業

ア) 史跡等の土地買上げ事業

a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：うるま市

事業経費：31,318千円（国25,054千円、県720千円、市5,544千円）

買上げ実績：2,283.94㎡ 9筆

b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上げ）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：93,772千円（国75,016千円、県2,156千円、村16,600千円）

買上げ実績：26,094.00㎡ 53筆

c) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：10,206千円（国8,164千円、県235千円、市1,807千円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存修理事業

- a) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：沖縄県
事業経費：5,000千円（国4,000千円、県1,000千円）
事業内容：○三門基礎地盤地耐力調査と三門周辺石積み等の測量を委託で実施した。

◇円覚寺跡整備現地指導

①平成24年2月8日

- b) 事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：9,896千円（国7,916千円、県217千円、市1,763千円）
事業内容：○主郭門北側城壁修復の設計・施工監理を委託で実施した。
○主郭門北側城壁修復を工事請負で実施した。

◇玉城城跡整備委員会

①平成23年8月10日（南城市大里庁舎3階）
②平成24年2月29日（南城市大里庁舎3階）

- c) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：2,934千円（国2,344千円、市590千円）
事業内容：○雑草木伐採後の城郭西側から南側崖縁辺部の現況地形測量と石積みの修復により景観が変化した北のアザナ周辺の現況地形測量及び南の虎口跡石積みの写真測量を委託で実施した。
○雑草木で城壁石積みがどのように延びているか判然としない城郭西側から南側崖縁辺部の雑草木伐採を工事請負で実施した。

◇糸数城跡整備委員会

①平成23年8月9日（南城市大里庁舎3階）
②平成24年3月1日（南城市大里庁舎3階）

- d) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：石垣市
事業経費：9,000千円（国7,200千円、県198千円、市1,602千円）
事業内容：○芝張りに先立って第1号石塁遺構南西部の範囲内の遺構確認のための発掘調査を実施した。また、第4号石塁遺構北西トレンチの石敷遺構の実測に備え、礫の露出作業も行った。
○出土遺物の資料整理作業（主に海産貝類の分類作業）を実施した。
○史跡指定範囲南西部に位置する大石御嶽の周辺部で縮尺1/100、等高線20cmの微地形測量と第4号石塁遺構北西トレンチの集積遺構の写真測量、樹木の伐採排出を委託で実施した。
○第1号石塁遺構南西部において、芝張りを工事請負で実施した。

◇フルスト原遺跡整備委員会

①平成24年3月5日（石垣市教育委員会会議室）

◇フルスト原遺跡整備現地指導

②平成24年3月13日

- e) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：久米島町
事業経費：8,689千円（国6,951千円、県191千円、町1,547千円）
事業内容：○石積みの修復を行うための基礎資料を得るために三の郭南側外壁において遺構確認のための発掘調査を実施した。
○出土遺物の資料整理を実施した。
○石積み修復に伴う設計・施工監理及び平成24・25年度修復を予定している三の郭南側でボーリング調査（2箇所）と解析調査を委託で実施した。
○三の郭東側城壁の石積み修復を実施せず、次年度以降の修復に備えるため、崩落石材を採集し、城内で整理と基礎岩盤で亀裂や崩落が確認された箇所近くに注意サイン（3基）の設置を工事請負で実施した。

◇具志川城跡整備委員会

①平成23年11月8日（久米島博物館講堂）

②平成24年2月8日（久米島町役場具志川庁舎2階会議室）

◇具志川城跡整備現地指導

①平成23年12月15・16日

- f) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：糸満市
事業経費：15,504千円（国12,400千円、県341千円、市2,763千円）
事業内容：○物見の郭を中心に遺構確認のための発掘調査を実施した。
○城跡中央部の石積み遺構の測量及び石積み修復の設計を委託で実施した。
○城門西側石積みの修復を工事請負で実施した。
○保存修理報告書を刊行した。

◇具志川城跡整備委員会

①平成24年2月22日（糸満市役所5階会議室）

- g) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：20,000千円（国16,000千円、県440千円、市3,560千円）
事業内容：○城郭南西側城壁の整備に向けて露岩調査測量及び南側城壁修復の設計・施工監理を実施した。
○崩落の著しい城郭南側の城壁の修復及び崖下への落石対策を工事

請負で実施した。

◇知念城跡整備委員会及び現地検討会

- ①平成23年6月1日（南城市大里庁舎 3階会議室①、知念城跡）
- ②平成23年11月9日（南城市大里庁舎 3階会議室①）
- ③平成23年11月28日（知念城跡）

h) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：8,127千円（国6,400千円、県176千円、市1,551千円）

事業内容：○外郭南地区及び内郭西地区の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○出土遺物の資料整理（洗浄・分類・接合等）を実施した。

◇浦添城跡整備委員会

- ①平成24年2月28日（浦添市役所7階会議室）

i) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：うるま市

事業経費：40,011千円（国32,000千円、県880千円、市7,131千円）

事業内容：○四の曲輪東区の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○四の曲輪東区の石積み修復の設計・施工監理を委託で実施した。

○四の曲輪東区の石積み修復を工事請負で実施した。

◇勝連城跡整備委員会及び現地指導

- ①平成23年8月30日
- ②平成23年10月14日（うるま市民芸術劇場会議室）

j) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：中城村

事業経費：35,006千円（国28,000千円、県770千円、村6,236千円）

事業内容：○前年度からの継続で一の郭基壇上の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○出土遺物の資料整理を実施した。

○一の郭西側城壁の設計・施工監理及び解体前、解体中の石積みの測量・図化及び一の郭基壇上の遺構の測量・図化、発掘調査で出土した金属製品の保存処理、城郭の空撮を委託で実施した。

○一の郭西側城壁で崩落の危険性がある石積みを工事請負で実施した。

○発掘調査報告書を刊行した。

◇中城城跡整備委員会

- ①平成23年7月14日（中城・北中城消防本部会議室）
- ②平成23年11月21日（中城城跡協同管理協議会会議室）
- ③平成23年12月5日（中城城跡協同管理協議会会議室）

k) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：52,025千円（国41,600千円、県1,661千円、村8,764千円）

事業内容：○外郭城外地区の遺構確認のための発掘調査を実施した。

○外郭城壁等の整備の設計・施工監理は委託により実施した。

○外郭城壁等の修理を工事請負で実施した。

○環境整備報告書を刊行した。

◇今帰仁城跡調査研究整備委員会

①平成23年8月31日（今帰仁村歴史文化センター談話室）

②平成24年2月9日（今帰仁村歴史文化センター談話室）

ウ) 史跡・名勝の保存修理事業（平成22年度明許線越分）

a) 事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：10,001千円（国8,000千円、市2,001千円）

事業内容：○木製階段設置に係る設計・施工監理及び主郭門を構成する岩盤の強度調査を委託で実施した。

○木製階段設置、進入防止柵設置、主郭門北側城壁の内側及び裏込材の取り外しを工事請負で実施した。

◇玉城城跡整備委員会

①平成23年7月15日（南城市大里庁舎3階会議室）

②平成24年3月5日（南城市大里庁舎3階会議室）

エ) 歴史の道整備活用推進事業

a) 事業名：「ハンタ道」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：中城村

事業経費：30,047千円（国24,000千円、県660千円、村5,387千円）

事業内容：○字登又喜石原と字伊舎堂仁原間の里道において、平成23年度整備によって改変を受ける箇所記録保存のための発掘調査を実施した。

○平成23年度整備箇所の設計・施工監理及び遺構確認の発掘調査の際に検出された遺構（石敷道）の図化、歴史の道沿道にあるノロ墓の石積み記録保存のための地上写真測量、発掘調査で出土した金属製品の保存処理を委託で実施した。

○土留め石積が孕んだ箇所や崩れている箇所の解体・積み直し復旧及び石材欠損部のある石敷等の復元整備を工事請負で実施した。

◇歴史の道整備委員会

①平成23年12月5日（中城城跡協同管理協議会会議室）

オ) 史跡等保存管理計画策定事業

a) 事業名：史跡「山田城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：恩納村

事業経費：3,194千円（国2,555千円、県121千円、村518千円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を2回実施した。

○保存管理計画書を策定し、報告書を刊行した。

◇山田城跡保存管理計画策定委員会

①平成23年7月28日（恩納村博物館1階会議室）

②平成23年11月29日（恩納村役場第1会議室）

b) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：北谷町

事業経費：2,553千円（国1,731千円、町822千円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。

○保存管理計画書を策定し、報告書を刊行した。

◇伊礼原遺跡保存管理計画策定委員会

①平成23年7月27日（北谷町役場3階庁議室）

②平成23年12月6日（北谷町役場1階レセプションホール）

③平成24年2月10日（北谷町役場3階庁議室）

◇伊礼原遺跡保存管理計画策定指導助言

①平成23年11月30日（北谷町役場3階教育委員室）

c) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：10,001千円（国8,000千円、県380千円、村1,621千円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画の策定に必要な調査及び資料収集、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の策定の審議を3回実施した。

○シイナ城跡の地形測量を委託で実施した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡保存管理計画策定委員会

①平成23年8月30日（今帰仁歴史文化センター談話室）

②平成23年12月15日（今帰仁歴史文化センター談話室）

③平成24年2月9日（今帰仁歴史文化センター談話室）

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：1,932千円（県803千円、市564千円、個人負担565千円）

事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」は、沿線の石積みにはらみが見

られ、崩れる危険性があることから、既存の石材を用いて石積みの解体積み直しを行う事業で、元の石積みの石材及び寸法等に倣って、修復を行った。なお、既存の石材が欠損等で使用できない場合は新規石材により補填を行った。

○石積みの修復は工事請負で実施した。

○平成23年度の石積みの修復は、 $A=17.5\text{m}^2$ （正面約 11.8m^2 、背面約 5.7m^2 ）、瓦を約 7.5m^2 の範囲で行った。

イ) 管理事業

a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100千円（県30千円、市70千円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成23年4月13日付け沖縄県教育委員会指令第20号）
株式会社NHKエンタープライズによる指定地内における舗装歩道上への砂の散布及び照明機器等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 2) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成23年5月20日付け23受庁財第4号の21）
北谷町による排水路撤去及び仮設排水路設置を文化庁が許可。
- 3) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成23年5月20日付け23受庁財第4号の121）
沖縄県による仮設道設置及び岩盤崩落防止を文化庁が許可。
- 4) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成23年7月1日付け23受庁財第4号の397）
沖縄県立埋蔵文化財センターによる発掘調査を文化庁が許可。
- 5) 史跡「今帰仁城附シイナ城跡」の現状変更（平成23年7月15日付け23受庁財第4号の320）
今帰仁村による石垣修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 6) 史跡「下田原城跡」の現状変更（平成23年7月15日付け23受庁財第4号の443）
田盛敏一による土坑試掘を文化庁が許可。
- 7) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成23年7月15日付け23受庁財第4号の445）
うるま市による発掘調査を文化庁が許可。
- 8) 史跡「玉城城跡」の現状変更（平成23年7月15日付け23受庁財第4号の478）
南城市教育委員会による発掘調査及び石積修理を文化庁が許可。
- 9) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成23年7月15日付け23受庁財第4号の620）
内閣府沖縄記念公園事務所 国営沖縄記念公園事務所による井戸設置及び集水管理柵を文化庁が同意。
- 10) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成23年7月28日付け沖縄県教育委員会指令第45号）
今帰仁村によるイベントに伴う音響、照明等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 11) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成23年9月16日付け23受庁財第4号の830）
南城市による石積修復及び伐採を文化庁が許可。
- 12) 史跡「具志川城城跡」の現状変更（平成23年9月16日付け23受庁財第4号の893）
久米島町による発掘調査と石積修復を文化庁が許可。
- 13) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成23年9月16日付け23受庁財第4号の894）
中城村による発掘調査を文化庁が許可。
- 14) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成23年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第46号）
首里城祭実行委員会による火を灯したロウソク入りカップの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 15) 県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成23年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
那覇市による指定地内における石畳道沿道沿石垣修復工事を沖縄県教育委員会が許可
- 16) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成23年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第47号）
首里振興会による琉球王国祭り首里（旧首里城祭）のフィナーレとして花火大会に伴う「ナイヤガラ滝」の仮足場や打揚花火等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 17) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成23年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第48号）

- 今帰仁村によるイベントに伴う音響、照明等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 18) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成23年10月21日付け23受庁財第4号の973）
南城市による発掘調査及び伐採を文化庁が許可。
 - 19) 名勝「東平安名崎」の現状変更（平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1029）
宮古島市による防波堤修復を文化庁が許可。
 - 20) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1127）
浦添市による発掘調査を文化庁が許可。
 - 21) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1141）
沖縄県による園路整備及び法面崩落防止を文化庁が許可。
 - 22) 県史跡「野国貝塚群」の現状変更（平成23年10月27日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
在沖アメリカ軍による排水施設の設置を沖縄県教育委員会が許可。
 - 23) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成23年11月18日付け23受庁財第4号の855）
内閣府沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事業事務所による奥書院復元及び黄金御殿外観復元を文化庁が同意。
 - 24) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成23年11月18日付け23受庁財第4号の1033）
独立行政法人都市再生機構九州支社による北殿建具改修を文化庁が許可。
 - 25) 史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成23年11月18日付け23受庁財第4号の1268）
石垣市による発掘調査及び芝張を文化庁が許可。
 - 26) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成23年11月18日付け23受庁財第4号の1363）
沖縄県による落石防護柵及び網設置を文化庁が許可。
 - 27) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成23年12月9日付け23受庁財第4号の1399）
うるま市による石積修復を文化庁が許可。
 - 28) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成23年12月9日付け23受庁財第4号の1454）
糸満市による石垣修復及び発掘調査を文化庁が許可。
 - 29) 史跡「今帰仁城跡シイナ城跡」の現状変更（平成24年1月11日付け沖縄県教育委員会指令第8号）
今帰仁村によるイベントに伴う音響、照明等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
 - 30) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成24年1月20日付け23受庁財第4号の1627）
環境省九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所による環境調査を文化庁が同意。
 - 31) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成24年1月20日付け沖縄県教育委員会指令第3号）
イメージフィールド株式会社による撮影機器等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
 - 32) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成24年1月26日付け沖縄県教育委員会指令第4号）
沖縄県による第32軍司令部壕説明板の設置を沖縄県教育委員会が許可。
 - 33) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更の計画変更書（平成24年2月7日付け23受庁財第4号の1881）
北谷町による排水路撤去及び仮設水路設置の計画内容変更を文化庁が承認。
 - 34) 史跡「宇江城城跡」の現状変更（平成24年2月17日付け23受庁財第4号の1756）
航空自衛隊久米島分屯基地司令による施設改良を文化庁が同意。
 - 35) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成24年3月5日付け沖縄県教育委員会指令第6号）
西原町による倒木裁断及び搬出を沖縄県教育委員会が許可。
 - 36) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成24年3月16日付け23受庁財第4号の2088）
中城村による便所設置及び花壇撤去を文化庁が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物緊急調査（キシノウエトカゲ）

事業目的：キシノウエトカゲの生息状況を調査し、具体的な保護策に向けての資料とする。

事業主体：沖縄県

事業総額：4,883千円（国 3,879千円、県 1,004千円）

調査委員：戸田 守 琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授
当山 昌直 県教育庁文化財課史料編集班班長
疋田 努 京都大学理学研究科動物学教室教授
木寺 法子 琉球大学理工学研究科博士研究員
栗田 和紀 京都大学大学院生
城間 恒宏 沖縄県立宮古総合実業高校教諭
藤本 治彦 沖縄県立八重山商工高校教諭
田中 聡 沖縄県立博物館・美術館学芸員
島村 賢正 沖縄県立八重山商工高校校長
久貝 勝盛
岡村 真希 環境省西表野生生物保護センター自然保護監
中村 智映 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
吉岡 由恵 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
笹井 隆秀 琉球大学理工学研究科大学院生

事務局：德里 政哉 県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 宮古、八重山地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 生活史・習性に関する調査
- c) 遺伝的特性に関する調査
- d) 文献および聞き取り調査

②天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物指定対象物件調査

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。

事業主体：沖縄県

事業総額：74千円（県74千円）

事務局：德里 政哉 県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 西表島、宮古島

(2)調査項目

- a) 保全上の課題を有する物件の現地調査
- b) 指定候補物件の現地調査

③天然記念物の現状変更等

- 1) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 4. 15、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 3. 30)
内容 (期間) : 特別天然記念物イリオモテヤマネコ保護増殖事業に係る調査研究
(H23. 5. 20からH26. 3. 31)
許可 : 平成23年5月20日付け23受庁財第4号の111
- 2) 国指定天然記念物現状変更許可申請 (H23. 4. 26、許可)
申請者 (日付) : 沖縄環境分析センター代表取締役西銘史則 (H23. 4. 18)
内容 (期間) : オカヤドカリの生息状況調査 (許可の日からH23. 7. 31)
許可 : 平成23年4月26日付け沖縄県教育委員会指令第22号
- 3) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 5. 12、進達)
申請者 (日付) 琉球大学熱帯生物圏研究センター助教成瀬貫 : (H23. 5. 1)
内容 (期間) : オカヤドカリの捕獲および飼育 (許可の日からH25. 5. 31)
許可 : 平成23年6月17日付け23受庁財第4号の235
- 4) 特別天然記念物及び天然記念物の現状変更協議 (H23. 5. 16、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 5. 12)
内容 (期間) : 特別天然記念物及び天然記念物の試料採取及び発信器装着
(許可の日からH26. 3. 31)
同意 : 平成23年6月17日付け23受庁財第4号の251
- 5) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 5. 19、許可)
申請者 (日付) : 株式会社南西環境研究所代表取締役田仲順一 (H23. 5. 6)
内容 (期間) : セマルハコガメ、オカヤドカリ、キシノウエトカゲの生息状況調査 (許
可の日からH22. 7. 31)
許可 : 平成23年5月19日付け沖縄県教育委員会指令第24号
- 6) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 5. 27、進達)
申請者 (日付) : 名護市教育委員会教育長 (H23. 5. 16)
内容 (期間) : 名護のひんぷんガジュマル倒木対策 (許可の日からH23. 9. 30)
許可 : 平成23年6月17日付け23受庁財第4号の318
- 7) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 5. 31、許可)
申請者 (日付) : 沖縄県宮古土木事務所所長平良和雄 (H23. 5. 18)
内容 (期間) : 「オカヤドカリ」の生息状況調査 (宮古島市) (許可の日からH24. 3. 31)
許可 : 平成23年5月31日付け沖縄県教育委員会指令第25号
- 8) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 6. 16、許可)
申請者 (日付) : 株式会社エフエム二十一代表取締役石川丈浩 (H23. 5. 31)
内容 (期間) : 嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区におけるFMアンテナ設置 (名護市、
本部町) (許可の日からH23. 12. 31)
許可 : 平成23年6月16日付け沖縄県教育委員会指令第26号
- 9) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 6. 21、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 6. 2)
内容 (期間) : ヤンバルテナガコガネの飼育及び試料採取 (東村) (同意の日から個体
が滅失するまで)
同意 : 平成23年7月15日付け23受庁財第4号の480

- 10) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 6. 21、進達)
申請者 (日付) : 開邦高等学校長金城一男 (H23. 6. 13)
内容 (期間) : オカヤドカリの捕獲及び飼育 (八重瀬町) (許可の日からH24. 3. 25)
許可 : 平成23年7月15日付け23受庁財第4号の486
- 11) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 6. 24、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 6. 16)
内容 (期間) : ヤンバルテナガコガネの生息状況調査 (国頭村、大宜味村、東村、名護市) (同意の日からH26. 3. 31)
同意 : 平成23年7月15日付け23受庁財第4号の589
- 12) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 7. 11、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 6. 16)
内容 (期間) : ヤンバルテナガコガネの飼育及び試料採取 (国頭村) (同意の日から個体が滅失するまで)
同意 : 平成23年8月23日付け23受庁財第4号の669
- 13) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 5. 20、許可)
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢 (H23. 5. 9)
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (恩納村)
許可 : 平成23年5月20日付け沖縄県教育委員会指令第30号
- 14) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 8. 26、進達)
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 8. 1)
内容 (期間) : ヤンバルクイナの飼育及び繁殖 (国頭村) (同意の日から個体が滅失するまで)
同意 : 平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1032
- 15) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 8. 31、許可)
申請者 (日付) : 琉球大学理学部海洋自然学科久保田康裕 (H23. 8. 10)
内容 (期間) : 佐敷町富祖崎海岸のハマジンチョウ群落の植物採取 (許可の日からH23. 11. 31)
許可 : 平成23年8月31日付け沖縄県教育委員会指令第34号
- 16) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 9. 12、許可)
申請者 (日付) : 株式会社イーエーシー代表取締役大石哲也 (H23. 8. 17)
内容 (期間) : オカヤドカリの生息状況調査 (許可の日から1年間)
許可 : 平成23年9月12日付け沖縄県教育委員会指令第35号
- 17) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 9. 14、進達)
申請者 (日付) : 南西環境研究所代表取締役田中順一 (H22. 6. 15)
内容 (期間) : オカヤドカリ生息域内におけるマングース捕獲器設置 (許可の日からH23. 12. 31)
同意 : 平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1039
- 18) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 9. 16、許可)
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部ダム事務所長 (H23. 8. 15)
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (恩納村) (許可の日から1年間)
許可 : 平成23年9月16日付け沖縄県教育委員会指令第36号

- 19) 国指定天然記念物現状変更協議 (H23. 10. 6、進達)
協議者及び申請者 (日付)：環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 10. 6)、沖縄県知事仲井眞弘多 (H23. 10. 6)
内容 (期間)：特別天然記念物及び天然記念物生息域、与那覇岳天然保護区域内におけるマングース捕獲器設置 (許可日から平成26年10月31日まで)
同意：平成23年10月21日付け23受庁財第4号の1207
- 20) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 10. 26、許可)
申請者 (日付)：一般財団法人沖縄県環境科学センター (H23. 10. 5)
内容 (期間)：オカヤドカリの生息状況調査 (許可日からH24. 3. 31)
許可：平成23年10月26日付け沖縄県教育委員会指令第37号
- 21) 特別天然記念物現状変更協議 (H23. 10. 26、進達)
協議者 (日付)：環境省那覇自然環境事務所長 (H23. 10. 21)
内容 (期間)：特別天然記念物ノグチゲラの現状変更 (生態調査及び試料採取) (許可日からH26. 3. 31)
許可：平成23年11月18日付け23受庁財第4号の1314
- 22) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 10. 28、進達)
申請者 (日付)：沖縄県土木建築部北部土木事務所所長神村美州 (H23. 10. 25)
内容 (期間)：オカヤドカリの一時捕獲及び移動 (許可日から1年間)
許可：平成23年11月18日付け23受庁財第4号の1365
- 23) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 11. 16、進達)
申請者 (日付)：南大東村長仲田建匠 (H23. 11. 16)
内容 (期間)：南大東島東海岸植物群落における防災設備設置 (南大東村) (許可日からH24. 3. 31)
許可：平成23年12月9日付け23受庁財第4号の1445
- 24) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 11. 16、進達)
協議者 (日付)：九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H23. 10. 31)
内容 (期間)：米原のヤエヤマヤシ群落内における遊歩道整備 (許可の日からH24. 3. 31)
許可：平成23年12月9日付け23受庁財第4号の1446
- 25) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 12. 1、許可)
申請者 (日付)：琉球大学教育学部講師富永篤 (H23. 11. 17)
内容 (期間)：「ナミエガエル」遺伝的多様性の調査のための組織採取 (大宜味村) (許可の日から3年間)
許可：平成23年12月1日付け沖縄県教育委員会指令第40号
- 26) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H23. 12. 8、進達)
提出者 (日付)：沖縄オカヤドカリ取扱商組合長新垣昭 (H23. 2. 28)
内容 (期間)：「オカヤドカリ」捕獲 (許可日からH23. 8. 31)
- 27) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 12. 12、進達)
申請者 (日付)：石垣市教育委員会教育長玉津博克 (H23. 11. 28)
内容 (期間)：ヤエヤマシタン虫害防除のための薬剤散布 (許可日からH24年3月31日)
許可：平成24年1月10日付け23受庁財第4号の1608
- 28) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 12. 22、許可)

- 申請者（日付）：環境省自然環境局新宿御苑管理事務所長三村起一（H23. 12. 19）
内容（期間）：佐敷町富祖崎海岸のハマジンチョウ群落内におけるハマジンチョウの種子等の採取（許可の日からH23. 12. 29）
許可：平成23年12月22日付け沖縄県教育委員会指令第43号
- 29) 県指定天然記念物現状変更申請（H23. 12. 6、許可）
申請者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢（H23. 11. 28）
内容（期間）：「喜如嘉板敷海岸の板干瀬」の基礎地盤調査（許可日からH23. 3. 31）
許可：平成23年12月6日付け教育委員会指令第44号
- 30) 県指定天然記念物現状変更申請（H24. 1. 26、許可）
申請者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢（H23. 12. 14）
内容（期間）：「イボイモリ、クロイワトカゲモドキ」の一時捕獲及び移動（恩納村）（許可の日から1年間）
許可：平成24年1月26日付け沖縄県教育委員会指令第1号
- 31) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 2. 6、進達）
申請者（日付）：沖縄オカヤドカリ取扱商組合長新垣昭（H24. 1. 17）
内容（期間）：「オカヤドカリ」捕獲（許可日からH24. 9. 30）
許可：平成24年3月16日付け23受庁財第4号の1963
- 32) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 2. 9、進達）
申請者（日付）：琉球大学教育学部自然理学研究室尾方隆幸（H24. 2. 1）
内容（期間）：「塩川」の地下水系調査（許可日からH25. 3. 31）
許可：平成24年4月20日付け23受庁財第4号の1976
- 33) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 2. 27、進達）
申請者（日付）：琉球大学理学部海洋自然学科教授伊澤雅子（H24. 2. 5）
内容（期間）：「ケナガネズミ」生息状況調査（許可日からH27. 3. 31）
許可：平成24年3月16日付け23受庁財第4号の2087
- 34) 県指定天然記念物現状変更申請（H24. 2. 17、許可）
申請者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢（H24. 2. 10）
内容（期間）：「喜如嘉板敷海岸の板干瀬」の一部掘削（許可の日からH24. 12. 31）
許可：平成24年2月17日付け沖縄県教育委員会指令第5号
- 35) 県指定天然記念物現状変更申請（H24. 3. 15、許可）
申請者（日付）：沖縄防衛局長（H24. 2. 29）
内容（期間）：「ヨナグニサン」生息状況調査（許可日からH24. 6. 30）
- 36) 国指定天然記念物現状変更申請（H24. 3. 15、進達）
申請者（日付）：財団法人山階鳥類研究所理事長島津久永（H24. 3. 8）
内容（期間）：「カンムリワシ、ノグチゲラ、アカヒゲ、イジマムシクイ、カラスバト、リュウキュウキンバト」の一時捕獲（許可の日からH27. 3. 31）
許可：平成24年4月20日付け23受庁財第4号の2210
- 37) 県指定天然記念物現状変更申請（H24. 3. 23、許可）
申請者（日付）：琉球大学農学部教授辻瑞樹（H24. 2. 20）
内容（期間）：「コノハチョウ」捕獲（許可日からH26. 3. 31）
許可：平成24年3月23日付け沖縄県教育委員会指令第9号
- 38) 国指定天然記念物の保全対策について（H24. 3. 26、供覧）

- 提出者（日付）：南部広域市町村圏組合理事長翁長雄志（H24. 2. 2）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の保全策（提出日から3年間）
- 39) 県指定天然記念物現状変更申請（H24. 3. 27、許可）
申請者（日付）：航空自衛隊那覇救難隊2等空佐森部樹司（H24. 3. 2）
内容（期間）：「嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区」内における救難訓練
（H24. 4. 1からH25. 3. 31）
許可：平成24年3月27日付け沖縄県教育委員会指令第12号
- 40) 県指定天然記念物現状変更終了報告（H24. 3. 30、供覧）
提出者（日付）：沖縄防衛局長真部朗（H24. 3. 6）
内容（期間）：「フタオチョウ、クロイワトカゲモドキ」の一時捕獲、移動
（H22. 9. 13からH23. 12. 25）
- 41) 県指定天然記念物現状変更終了報告（H24. 3. 30、供覧）
提出者（日付）：沖縄総合事務局北部国道事務所長上原勇賢（H24. 3. 16）
内容（期間）：「イボイモリ、クロイワトカゲモドキ」の一時捕獲、移動
（H23. 5. 20からH24. 3. 15）

5. 埋蔵文化財

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1	伊江村	県営農地保全整備事業（伊江村川平第2地区）	北部農林水産振興センター 伊江村教育委員会	ナガラ原第三貝塚、ナガラ原東貝塚、カヤ原遺跡A地点
2	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	辺名地遺跡
3	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	辺名地遺跡
4	多良間村	阿嘉利原第1地区貯水池工事	多良間村 多良間村教育委員会	嘉服第2遺跡
5	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	辺名地遺跡

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	比屋根遺跡	沖縄市	比屋根自治会長	御嶽整備	慎重工事
2	島添大里グスク南遺跡	南城市	南城市	公園造成	発掘調査
3	加那堂原遺物散布地	南城市	有限会社神谷産業	高齢者専用賃貸住宅	慎重工事
4	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	共同住宅	工事立会
5	越来グスク	沖縄市	個人	個人住宅	発掘調査
6	喜友名貝塚	宜野湾市	個人	個人住宅	発掘調査
7	下大木原遺跡	読谷村	個人	個人住宅	工事立会
8	稲嶺遺跡	南城市	株式会社照正組	住宅	慎重工事
9	首里崎山古墓群	那覇市	那覇市	公園造成	発掘調査
10	豊見城古島A遺跡	豊見城市	株式会社沖建住宅	住宅	慎重工事
11	大嶽城跡	宮古島市	航空自衛隊宮古島分屯基地	配管埋設	工事立会
12	平得宇部御嶽遺跡	石垣市	石垣市	道路改良	発掘調査
13	首里金城村跡	那覇市	那覇市	細街路整備	発掘調査
14	前田・経塚近世墓群	浦添市	個人	病院建設	発掘調査
15	首里末吉の山陣地と周辺遺跡、赤嶺配水池の壕群	那覇市	那覇市	特殊地下壕対策工事	工事立会
16	翁長原遺物散布地（B地点）	豊見城市	豊見城市	水道工事	慎重工事
17	花城村跡遺跡	竹富町	花城御嶽拝殿改築期成会	拝殿建立	慎重工事
18	武富グスク	糸満市	糸満市	道路建設	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
19	桃原貝塚	うるま市	うるま市	道路建設	発掘調査
20	大浜の特攻艇秘匿壕群	宮古島市	宮古島市	上水道施設整備	工事立会
21	谷茶貝塚、谷茶前川河口遺物 散布地	恩納村	恩納村	河川整備	工事立会
22	ミスズマ遺跡	宮古島市	宮古農林水産振興セ ンター	区画整理	発掘調査
23	金良原遺物散布地	豊見城市	個人	共同住宅	工事立会
24	豊見城勢理客原古墓群	豊見城市	豊見城市	歩道設置工事	工事立会
25	飛留喜田原A遺跡、頭呂地原遺 物散布地、西先謝原遺物散布地	金武町	金武町	道路建設	工事立会
26	ザカン原遺跡	八重瀬町	ソフトバンクモバイル 株式会社九州技術部	鉄塔建設	慎重工事

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	発 見 地	遺跡名	届出・通知者	原 因	措置状況
1	那覇市小禄	小禄長田原壕	那覇市長	公共施設建設	現状保存
2	浦添市港川	崎原古墓群	沖縄総合事務局 南部国道事務所長	工食用道路建設	現状保存
3	那覇市字当間	当間原壕	沖縄防衛局長	自衛隊施設建設	発掘調査
4	名護市世富慶	防空壕跡(名護市世 富慶)	沖縄総合事務局 北部国道事務所長	伐採作業	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財(物件の数量)	保管場所
1	字大嶺村跡	H23. 3. 25	那覇市教育委員会教 育長	大阪航空局 那覇空港事 務所長	陶磁器破片、金属製品等 {3箱}	那覇市教委
2	佐敷上グスク	H23. 2. 28	南城市教育委員会教 育長	南城市	土器、青磁、白磁、陶器 {6箱}	南城市教委
3	安富祖古島遺跡	H23. 1. 21	恩納村教育委員会教 育長	個人	陶磁器類(中国産陶磁器、 沖縄産陶磁器ほか)、石 器、貝殻{60箱}	恩納村教委
4	島添大里グスク	H23. 3. 12	南城市教育委員会教 育長	南城市	陶磁器、自然遺物{3箱}	南城市教委
5	白保竿根田原洞穴 周辺遺物散布地	H23. 3. 24	沖縄県教育委員会教 育長	沖縄県知事	土器、石器、貝類遺体、動 物遺体、人骨{192箱}	県立埋蔵文化財 センター
6	安富祖川河口遺物 散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教 育長	恩納村長	陶磁器類(中国産陶磁器、 沖縄産陶磁器ほか){1 箱}	恩納村教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財（物件の数量）	保管場所
7	熱田貝塚	H22. 12. 25	恩納村教育委員会教育長	個人	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか）、土器、石器、貝類 {20箱}	恩納村教委
8	太田古墓群	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか）、土器 {40箱}	恩納村教委
9	太田志喜根貝塚	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	個人	陶磁器類（中国産陶磁器）、土器、石器 {1箱}	恩納村教委
10	南恩納古墓群	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか） {1箱}	恩納村教委
11	南恩納北勢高海岸遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器、石器 {1箱}	恩納村教委
12	ギシフ島遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器、石器 {1箱}	恩納村教委
13	ジムン海岸遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	個人	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器、石器、貝製品 {1箱}	恩納村教委
14	当袋川河口遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村恩納財産区	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
15	恩納古島遺跡	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	個人	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
16	恩納グスク	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	個人	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器） {1箱}	恩納村教委
17	谷茶前川河口遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器） {1箱}	恩納村教委
18	富着アシジャ原海岸遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
19	安幸地原貝塚	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	国土交通省	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
20	久良波海岸遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	国土交通省	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
21	塩屋垂川河口遺物散布地	H23. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	陶磁器類（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器）、土器 {1箱}	恩納村教委
22	ティーラガマ遺物散布地	H23. 3. 31	南城市教育委員会教育長	南城市	陶磁器、土器、鉄片、自然遺物等 {1箱}	南城市教委
23	知念城跡	H23. 3. 25	南城市教育委員会教育長	南城市長	瓦片、陶磁器、漆喰、貝類、獣魚骨等 {10箱}	南城市教委
24	玉城城跡	H23. 2. 18	南城市教育委員会教育長	南城市長	土器、陶磁器、類須恵器、古銭、獣骨等 {5箱}	南城市教委
25	糸数城跡	H23. 2. 24	南城市教育委員会教育長	南城市長	土器、類須恵器、陶磁器、獣骨等 {3箱}	南城市教委

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財（物件の数量）	保管場所
26	浦添市西海岸の石切場跡（港川地区）	H23. 3. 31	浦添市教育委員会教育長	国土交通省	石切工具（鉄製）（1箱）	浦添市教委
27	勢理客城門原近世墓群	H23. 3. 31	浦添市教育委員会教育長	沖縄食糧株式会社	厨子甕など（50箱）	浦添市教委
28	浦添城跡	H23. 3. 31	浦添市教育委員会教育長	沖縄県知事 浦添市長	瓦、陶磁器、土器、土壌サンプルなど（10箱）	浦添市教委
29	西長浜原遺跡	H22. 10. 26	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	土器片、自然遺物ほか（1箱）	今帰仁村教委
30	大首原遺跡	H22. 12. 31	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、自然遺物ほか（1箱）	今帰仁村教委
31	今帰仁城跡	H23. 3. 31	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、ガラス製ビーズ、古銭、自然遺物ほか（7箱）	今帰仁村教委
32	大湾アガリヌウガン遺跡	H22. 12. 27	読谷村教育委員会教育長	大湾区	磁器（中国産白磁青磁）、土器、石器（2箱）	読谷村教委
33	具志川城跡	H23. 3. 31	久米島町教育委員会教育長	久米島町長	中国青磁（碗）、褐釉陶器、自然遺物（ヤコウガイ等）、中国古銭（3箱）	久米島町教委
34	南山城跡	H23. 3. 10	糸満市教育委員会教育長	糸満市	陶磁器、瓦、古銭等（1箱）	糸満市教委
35	瀬名波通信施設跡	H23. 3. 28	読谷村教育委員会教育長	瀬名波区他	土器、石器（石鍋、石斧）、石材（1箱）	読谷村教委
36	安良村跡	H23. 4. 3	日本学術振興会特別研究員PD 石井龍太	個人	陶磁器、ガラス瓶、動物遺体（貝、骨）（3箱）	日本学術振興会特別研究員PD 石井龍太
37	越来グスク	H22. 11. 26	沖縄市教育委員会教育長	個人	土器片、陶磁器片、石器など（60箱）	沖縄市教委
38	仲宗根貝塚	H23. 2. 14	沖縄市教育委員会教育長	コザバプテスト教会	土器片、陶磁器片、石器など（30箱）	沖縄市教委
39	大山前門原第一遺跡	H23. 5. 26	宜野湾市教育委員会教育長	個人	本土産陶磁器、沖縄産陶磁器など（1箱）	宜野湾市教委
40	宮国元島上方古墓群	H23. 6. 10	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	人骨、陶磁器、金属製品、ガラス製品、自然遺物（2箱）	県立埋蔵文化財センター
41	喜友名貝塚	H23. 6. 10	宜野湾市教育委員会教育長	個人	青磁、褐釉陶器、沖縄産陶器など（1箱）	宜野湾市教委
42	フクチ山古墓群	H22. 11. 6	那覇市教育委員会教育長	株式会社シビルエンジニアリング	土器13点、カワニナ約30点	那覇市教委
43	伊敷索城跡	H23. 5. 31	関西大学文学部考古学研究室 代表 米田文孝	久米島町長	陶磁器（青磁器片）7点	関西大学文学部考古学研究室 代表 米田文孝
44	勝連城跡	H21. 10. 31	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか）、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物（貝殻、獣魚骨等）（33箱）	うるま市教委

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財（物件の数量）	保管場所
45	勝連城跡	H22. 11. 30	うるま市教育委員会 教育長	うるま市長	陶磁器（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか）、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物（貝殻、獣魚骨等）〔21箱〕	うるま市教委
46	下大木原遺跡	H23. 6. 30	読谷村教育委員会 教育長	個人	土器、石器〔2箱〕	読谷村教委
47	首里崎山古墓群	H23. 2	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	陶磁器破片、金属製品（鉄釘など）〔2箱〕	那覇市教委
48	喜友名貝塚	H23. 7. 15	宜野湾市教育委員会 教育長	個人	青磁、青花、沖縄産陶器、土器、銭貨など〔1箱〕	宜野湾市教委
49	網取遺跡	H22. 9. 13	東海大学文学部 教授 北條芳隆	東海大学	土器類〔1箱〕	東海大学文学部 教授 北條芳隆
50	安室貝塚、古座間味貝塚、慶留間遺跡、阿佐集落内ほか	H23. 8. 15	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器等〔1箱〕	県立埋蔵文化財 センター
51	カヤウチバンタ遺跡	H23. 8. 21	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科 教授 上原静	大石林山社長	土器片652点、石器94点、玉製品2点、石鏃1点、貝殻507点、魚骨片83点、獣骨片307点、礫706点	沖縄国際大学 教授 上原静
52	前田・経塚近世墓群	H23. 8. 31	浦添市教育委員会 教育長	個人	厨子、その他の陶器、戦争遺物、獣骨など〔10箱〕	浦添市教委
53	台グスク遺跡、喜石原遺跡	H23. 10. 17	中城村教育委員会 教育長	沖縄県知事	土器片、外国産陶磁器、国内産陶磁器、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸、石製品〔15箱〕	中城村教委
54	ナガラ原東貝塚	H23. 9. 14	熊本大学 教授 木下尚子	個人	土器、石器、貝製品、自然遺物〔20箱〕	熊本大学 教授 木下尚子
55	当山世利原の古墓	H23. 10. 25	浦添市教育委員会 教育長	沖縄県知事	蔵骨器、陶器など〔1箱〕	浦添市教委
56	宮国元島上方古墓群	H23. 12. 9	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	人骨、土器、陶磁器、金属製品、ガラス製品、自然遺物〔12箱〕	県立埋蔵文化財 センター
57	首里崎山古墓群	H24. 1	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長ほか	人骨、陶磁器破片、金属製品、ガラス製品等〔38箱〕	那覇市教委
58	中城御殿跡	H24. 1. 19	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	陶磁器、瓦、金属製品、銭貨、玉、貝製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類〔23箱〕	県立埋蔵文化財 センター
59	松崎馬場跡	H23. 12. 28	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	陶磁器、瓦、金属製品、銭貨、貝類〔2箱〕	県立埋蔵文化財 センター
60	首里末吉の山陣地と周辺遺跡	H24. 1. 21	那覇市教育委員会 教育長	個人	本土産近代磁器など3点	那覇市教委
61	首里金城村跡	H24. 2. 10	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	沖縄産陶磁器、本土産陶磁器など約100点	那覇市教委
62	ナイクブ古墓群	H24. 2. 3	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	ズシガメ及び陶磁器破片等〔12箱、土囊9袋〕	那覇市教委
63	大堂原貝塚	H24. 2. 10	名護市教育委員会 教育長	株式会社智光	土器586点、陶磁器13点、石器10点	名護市教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
64	普天間古集落遺跡	H24. 3. 14	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局局長	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材 {110箱}	県立埋蔵文化財センター
65	前田・経塚近世墓群	H24. 3. 5	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器70基、陶磁器、青銅製品、埋葬人骨など {70箱}	浦添市教委
66	鏡水箕隅原古墓群	H24. 2. 29	那覇市教育委員会教育長	字鏡水軍用地等地主会、那覇軍用地等地主会	蔵骨器、煙管、指輪、硯、沖縄産陶器、本土産陶器、本土産磁器、人骨など {10箱}	那覇市教委
67	大山加良当原第四遺跡	H24. 3. 28	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局局長	沖縄産陶器、陶質土器、簪(ジーファー)、縄文土器、磨製石斧等 {1箱}	県立埋蔵文化財センター

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
	平成23年度なし					

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市町村	調査主体・調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な時期・ 性格及び遺構等
1	南嶺の長墓	宮古島市	西九州大学 教授 マーク・ハドソン	学術研究	先史時代・貝塚
2	ナガラ原東貝塚	伊江村	熊本大学 教授 木下 尚子	学術研究	沖縄貝塚時代後期・貝塚
3	カヤウチバンタ遺跡	国頭村	沖縄国際大学 教授 上原 静	学術研究	縄文・散布地
4	網取遺跡	竹富町	東海大学 主任教授 北條 芳隆	学術研究	中世、近世・水田跡
5	安良村跡	石垣市	石井 龍太	学術研究	近世・集落跡
6	フェンサグスク貝塚	糸満市	札幌大学 教授 高宮 広士	学術研究	平安、中世・貝塚

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市町村	調 査 主 体	調 査 担 当 者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
1	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・集落跡
2	宮国元島上方古墓群	宮古島市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	道路建設	近現代・墓
3	喜友名貝塚	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	個人住宅建設	中世・集落跡
4	武芸洞遺跡	南城市	県立博物館・美術館	山崎真治	学術調査	縄文・散布地
5	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	新垣力 知念隆博 金城貴子	病院建設	近世・集落跡
6	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	保存目的による範囲内容確認調査	近世・御殿跡
7	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	瑞慶覧長順	病院建設	近世・墓
8	前田・経塚近世墓群(前田前原・経塚平良大名原)	浦添市	浦添市教育委員会	安斎英介	区画調整	近世・墓
9	平安山原A遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	松原哲志	区画整理	グスク・集落跡
10	大堂原貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	宿泊施設建設	縄文、弥生・貝塚
11	越来グスク	沖縄市	沖縄市教育委員会	比嘉清和	個人住宅建設	グスク・グスク
12	平安山原B遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	山城安生	区画整理	弥生・貝塚
13	南山城跡	糸満市	糸満市教育委員会	大城一成	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・グスク
14	当山世利原の墓	浦添市	浦添市教育委員会	仁王浩司	公園造成	近世・墓
15	松崎馬場跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠	保存目的による範囲内容確認調査	グスク、近世・交通遺跡
16	宮国元島上方古墓群	宮古島市	県立埋蔵文化財センター	山本正昭	道路建設	近世・墓
17	首里金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	樋口麻子	道路建設	近世・集落跡
18	首里崎山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	當銘由嗣	公園造成	近世・墓
19	重修石火矢橋碑文台座	豊見城市	豊見城市教育委員会	名嘉拓哉	火葬場建設	近世・交通遺跡
20	豊見城東古墓群	豊見城市	豊見城市教育委員会	名嘉拓哉	火葬場建設	近世・墓等
21	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市教育委員会	名嘉拓哉	火葬場建設	グスク・グスク
22	鏡水箕隅原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	道路建設	近世・墓
23	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	内間靖	公園造成	近世・墓
24	大山加良当原第四遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	大堀皓平	保存目的による範囲内容確認調査	近世・生産遺跡
25	島添大里グスク南遺跡	南城市	南城市教育委員会	喜瀬斗志也	公園造成	中世、近世・集落跡
26	安富祖川河口遺物散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確認調査	グスク、近世・散布地、港跡
27	ジムン海岸遺物散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確認調査	縄文・散布地

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
28	塩屋垂川河口遺物 散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	弥生、近世・散 布地、港跡
29	南恩納古墓群	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	近世・墓
30	南恩納北勢高海岸 遺物散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	グスク・散布地
31	太田志喜根貝塚	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	貝塚時代後期・ 貝塚
32	富着アシジャ原海 岸遺物散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	貝塚時代後期・ 散布地
33	ギシフ島遺物散布 地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	中世、近世・散 布地
34	谷茶前川河口遺物 散布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	近世・散布地
35	久良波海岸遺物散 布地	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	保存目的による範囲内容確 認調査	中世、近世・散 布地
36	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	個人住宅建設	縄文・集落跡

(8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧 (文化財保護担当部局予算計上)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
1	崎樋川貝塚Bほか1遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	資料整理	3,587	国80、市20
2	越来グスク	沖縄市	沖縄市教育委員会	発掘調査	17,020	国80、市20
3	仲宗根遺跡 他1遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	資料整理	6,536	国80、市20
4	志堅原貝塚(第2次)	南城市	南城市教育委員会	資料整理	4,859	国80、市20
5	志堅原遺跡(第3次)	南城市	南城市教育委員会	資料整理	655	国80、市20
6	中山小祿原遺跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	343	国80、市20
7	基地内遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	41,491	国80、県20
8	県内遺跡	渡嘉敷村ほか	県立埋蔵文化財センター	確認調査	3,569	国80、県20
9	戦争遺跡	石垣市ほか	県立埋蔵文化財センター	確認調査	6,533	国80、県20
10	具志川島遺跡群	伊是名村	県立埋蔵文化財センター	資料整理	3,658	国80、県20
11	武芸洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	確認調査	1,400	県100
12	普天間飛行場内遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	確認調査 資料整理	79,000	国80、市20
13	南山城跡	糸満市	糸満市教育委員会	確認調査	6,002	国80、県3.6、 市16.4
14	島添大里グスク	南城市	南城市教育委員会	資料整理	2,892	国80、市20
15	佐敷上グスク	南城市	南城市教育委員会	資料整理	4,050	国80、市20
16	運天の古墓群	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	確認調査 資料整理	3,007	国80、県3.6、 村16.4
17	恩納村内遺跡発掘調査等	恩納村	恩納村教育委員会	分布調査 資料整理	4,000	国80、県3.6、 村16.4

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
18	宜野座ヌ古島遺跡	宜野座村	宜野座村教育委員会	確認調査	1,249	国80、県3.6、 村16.4
19	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	7,602	国80、村20
20	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査	2,793	国80、村20
21	台グスク遺跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査	2,727	国80、県3.6、 村16.4
22	喜石原遺跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査	2,337	国80、県3.6、 村16.4
23	フルスト原遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	発掘調査 資料整理	1,760	国80、県2.2、 市17.8
24	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査 資料整理	8,128	国80、県2.2、 市17.8
25	具志川城跡	糸満市	糸満市教育委員会	発掘調査 資料整理	15,504	国80、県2.2、 市17.8
26	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	発掘調査	40,011	国80、県2.2、 市17.8
27	糸数城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査	9,527	国80、市20
28	玉城城跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	2,227	国80、市20
29	知念城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査	5,400	国80、市20
30	今帰仁城跡附シイナ城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	発掘調査 資料整理	52,025	国80、県3.2、 村16.8
31	中城城跡	中城村	中城村教育委員会	発掘調査 資料整理	35,006	国80、県2.2、 村17.8
32	歴史の道	中城村	中城村教育委員会	発掘調査 資料整理	30,047	国80、県2.2、 村17.8
33	具志川城跡	久米島町	久米島博物館	発掘調査 資料整理	2,456	国80、県2.2、 町17.8

(9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	宮国元島上方古墓群	宮古島市	県立埋蔵文化財センター	道路建設	発掘調査 資料整理	14,701	沖縄県
2	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	海軍病院建設	発掘調査 資料整理	107,160	沖縄防衛局
3	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	新石垣空港建設	資料整理	14,000	沖縄県
4	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	16,584	国土交通省
5	崎山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	11,662	国土交通省
6	真嘉比・古島古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	区画整理	発掘調査 資料整理	31,511	那覇市
7	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	発掘調査	20,520	国土交通省
8	鏡水箕碕原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	発掘調査 資料整理	2,589	内閣府
9	前田・経塚近世墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	資料整理	19,995	内閣府
10	小禄村跡(屋敷跡)	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	6,151	国土交通省

項目 No.	遺 跡 名	所在地	調 査 主 体	原 因	業務内容	経 費 (千円)	主な財源
11	渡地村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	資料整理	6,971	国土交通省
12	字大嶺村跡	那覇市	那覇市教育委員会	空港建設	資料整理	11,035	国土交通省
13	城岳古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	9,968	国土交通省
14	首里久場川壕群	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	資料整理	4,832	国土交通省
15	湧田村跡	那覇市	那覇市教育委員会	市役所建設	資料整理	1,937	那覇市
16	普天間下原第二遺跡 他1遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	米軍提供施設 建設	発掘調査 資料整理	143,149	沖縄防衛局
17	安座間原第一遺跡他2 遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	学校建設	発掘調査	1,360	宜野湾市
18	平得宇部御嶽遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	道路拡幅	発掘調査 資料整理	9,255	石垣市
19	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	区画整理	発掘調査 資料整理	88,168	浦添市
20	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	資料整理	6,152	国土交通省
21	前田・経塚近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	病院建設	発掘調査	362	個人
22	当山世利原の古墓	浦添市	浦添市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	4,834	沖縄県
23	浦添市西海岸の石切 場跡	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	資料整理	406	内閣府
24	勢理客城門原近世墓 群	浦添市	浦添市教育委員会	駐車場造成	資料整理	2,286	事業者
25	重修石火矢橋碑文台 座	豊見城市	豊見城市教育委員会	葬祭場建設	発掘調査	2,166	南部広域市町 村圏事務組合
26	桃原貝塚	うるま市	うるま市教育委員会	道路建設	発掘調査	7,180	うるま市
27	島添大里グスク南遺 跡	南城市	南城市教育委員会	公園造成	発掘調査	6,029	国土交通省
28	ティーラガマ遺物散 布地	南城市	南城市教育委員会	農業関係事業	資料整理	1,286	農林水産省
29	平安山原B遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	区画整理	発掘調査	18,165	国土交通省
30	平安山原A遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	区画整理	発掘調査	70,056	国土交通省
31	小堀原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	区画整理	資料整理	53,185	事業者
32	糸蒲遺跡	中城村	中城村教育委員会	区画整理	資料整理	1,290	中城村
33	志多伯遺跡ほか1遺 跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	公園造成	資料整理	5,650	国土交通省
34	ンブフル遺跡	竹富町	竹富町教育委員会	住宅	資料整理	2,971	竹富町
35	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	史跡整備(国 営公園整備)	発掘調査 資料整理	47,140	内閣府
36	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	県営首里城公 園整備	発掘調査 資料整理	39,899	沖縄県
37	松崎馬場跡	那覇市	県立埋蔵文化財 センター	県営首里城公 園整備	発掘調査	420	沖縄県

(10) 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所文化財担当者専門研修への参加者一覧
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修「石器・石製品調査課程」	平成23年9月12日～ 9月16日	大堀 皓平	県立埋蔵文化財 センター
2	文化財担当者専門研修「遺跡情報記録調査課程」	平成23年11月14日～ 11月18日	知念 純	嘉手納町教育委 会
3	文化財担当者専門研修「文化財写真課程」	平成23年11月28日～ 12月8日	小原 裕也	読谷村教育委員 会
4	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成23年12月8日～ 12月16日	與那嶺 俊	今帰仁村教育委 会
5	文化財担当者専門研修「遺跡等環境整備課程」	平成24年1月10日～ 1月20日	新城 宗史	宮古島市教育委 会
6	文化財担当者専門研修「保存科学Ⅲ（応急処置） 課程」	平成24年2月6日～ 2月10日	上地 克哉	南風原町教育委 会

(11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	宮古島市	23沖経出探第3号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
2	石垣市	23沖経出探第2号	石灰石	採掘	宮良第一遺跡ほか	地域を定めず指定 された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施している。

（2）円覚寺跡の保存整備にともなう調査

今年度は三門地区周辺の地耐力調査を実施し、重量構造物設置における基礎地盤の実態を把握した。

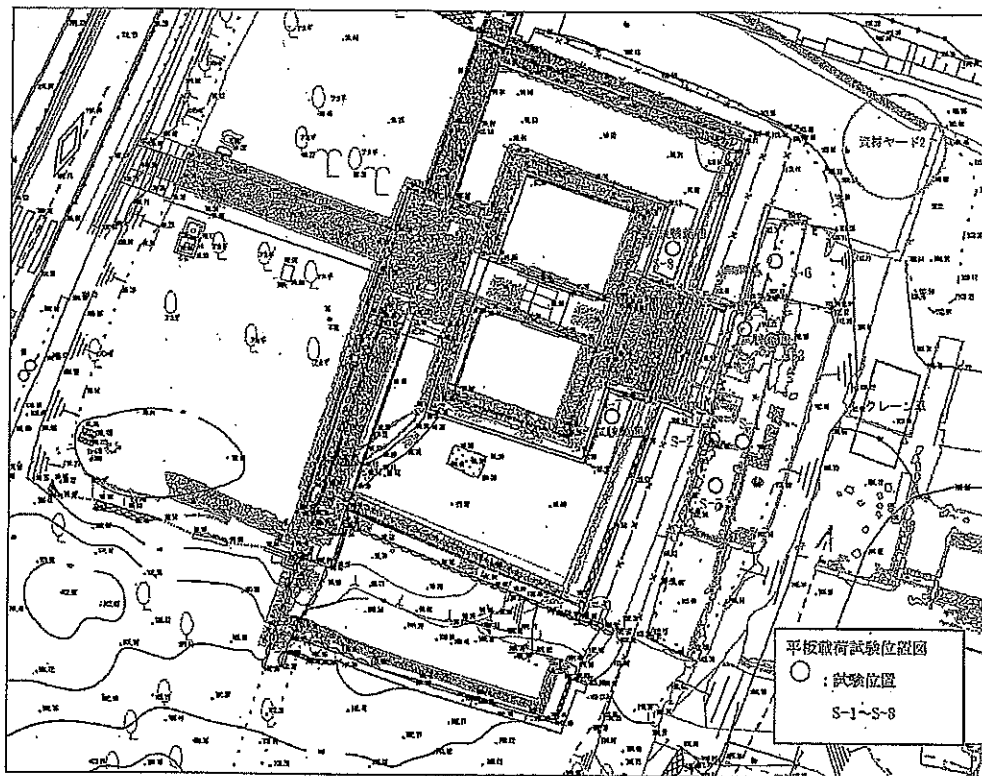
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

(単位：千円)

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料(設計・管理)
平成14年度	・石牆（土留め石積み）修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.5	委託料費 5,617.4 ・設計 4,649.4 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み）修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9,681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み）修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.5 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み）修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.7 ・設計 2,324.7 ・監理 2,259.6 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み）修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.0 ・設計 1,079.4 ・監理 2,445.6
平成19年度	石牆（土留めの石積み）修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.0 ・設計 1,575.0 ・監理 1,786.0 ・測量 504.0

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料(設計・管理)
平成20年度	石牆(土留めの石積み) 修復工事(29.4㎡)	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.0 ・設計 1,680.0 ・監理 1,694.7 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆(土留めの石積み) 修復工事(27.0㎡)	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.0 ・設計 1,785.0 ・監理 1,470.0 ・伐採 516.0
平成22年度	石牆(土留めの石積み) 修復工事(44.5㎡)	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.20
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668

平成23年度 三門周辺地耐力調査位置図



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

①島添大里城跡（しましーおおざとじょうあと）

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県南城市大里字大里真手川原 387 番地 外 65 筆

所 有 者：南城市ほか 125 名

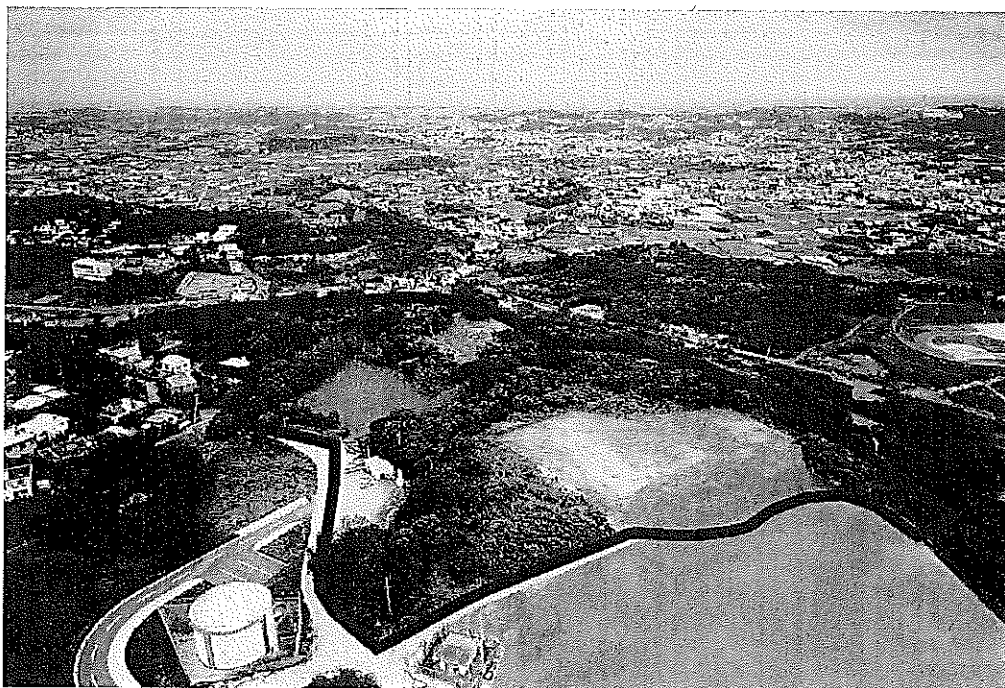
指 定 基 準：史跡二（都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡）

指定をする理由： 島添大里城跡は、沖縄県南城市の標高約 150m の舌状に伸びる琉球石灰岩丘陵の東端に位置し、崖を背後に堅固な城壁と天然の地形を巧みに取り入れた、沖縄グスク時代の城跡である。

古文献などによれば、三山時代の島添大里按司の居城として、本島島尻地域の東半分を支配する拠点であった。15 世紀の初め、尚巴志によって攻略され、落城した後は尚巴志による三山統一の拠点となり、首里城へ本拠が移転した後は、離宮として使用された。

大里村（現・南城市）教育委員会による発掘調査の結果、城の規模は、南北約 210m、東西約 270m で、二重の城壁を有し、内郭を囲む城壁は、高さ約 6 m、長さ約 175m が残存し、外郭部分の石積みは城跡の西側と北東側に残り、当時の山南城では最大規模を誇る。また基壇の上に造られた礎石建物の正殿の遺構が残る。中国産陶磁器や金属製品（鉄器・青銅製品）、装飾品などが出土した。城に近接して物見台と考えられるギリムイグスクも所在する。三山時代の島添大里按司の拠点として、また尚巴志による琉球統一の拠点となったとされる歴史的な城跡として貴重である。

官 報 告 示：平成 24 年 1 月 24 日付け文部科学省告示第 4 号



8. 新たに国の登録になった文化財

(1) 建造物の登録

- ① 北谷町うちなあ家主屋(旧目取真家住宅主屋)、
北谷町うちなあ家ふーる(旧崎原家住宅ふーる)

種 別：登録有形文化財(建築物、工作物)

・官報告示：平成24年2月23日

所在の場所：北谷町字上勢頭830-2

構造、形式：①主屋：木造平屋建、寄棟造瓦葺

及び大きさ ②ふーる：建築面積17㎡

所有者：北谷町

建築年代：主屋は、明治23年/平成17年移築。ふーるは、明治前期/平成18年移築。

説 明：① 旧目取真家住宅主屋は、1994年(平成6年)に北谷町に寄贈されて平成17年度に北谷町字吉原から現在地に移築したものである。

主屋は、敷地中央に南向きで建ち、南東側に雨端を廻らす。東側から一番座、二番座、板敷きの三番座の順に並び、西側に台所を配する。一番座に床の間、二番座に仏壇を設け、北側を裏座とする。伝統的な沖縄民家の一例である。

移築前は、築約110余年が経過しており、柱・壁板・瓦などの材質は損傷が著しい状態であったが、記録調査を行い、可能な限り当初材を使用して丁寧に復元されている。

建築面積：104㎡

構造形式：木造平屋建、寄棟造の本瓦葺き(琉球赤瓦葺き)

登録基準2「造形の規範となっているもの」として登録される。

- ② 旧崎原家住宅ふーるは、2006年(平成18年)に寄贈されて北谷町玉上集落から移築されたもので建築年代は明治前期といわれている。

ふーる(沖縄方言)は、豚舎兼便所のことで、間口が4m、奥行き4.6m、北半を東西に仕切り、それぞれが奥行き1.6mのアーチ状の屋根を架け、手前に飼育場を東西に並べ、床を石敷きとする典型的なふーるの形式をよくとどめている。現在は、北谷町うちなあ家の施設敷地内の北西側隅に配置している。

建築面積：17㎡

構造形式：石造(2連アーチ式)

登録基準2「造形の規範となっているもの」として登録される。



「写真提供：北谷町教育委員会」

(2) 名勝地関係の登録

②仲本氏庭園 (なかもとしていえん)

種 別：登録記念物 (名勝地関係)

所 在 地：沖縄県石垣市宇石垣 284 番地 外 2 筆

所 有 者：仲本正和ほか 2 名

指 定 基 準：名勝地関係一 (造園文化の発展に寄与しているもの)

指定をする理由： 仲本氏庭園は、首里王府治世下の八重山地方において、19世紀前半には頭職という要職も務めた高級士族である仲本家の屋敷に造られた庭園である。

八重山には、作庭に関する古文書が伝わるほか、互いによく似ている「宮良殿内庭園」と「石垣氏庭園」が保存され、共に日本本土の庭園の伝統様式を踏襲し、庭園文化の伝播をみる上で貴重であり、名勝に指定されている。

仲本氏庭園もこれらによく似ており、築山に巨石を据えて枯滝を組み石橋を架けた枯山水である。石材は主に琉球石灰岩であり、樹木はソテツ、フクギなどが植えられている。作庭は19世紀中頃と推定されている。

以上のように、庭園の材料や地割などの地域的な特徴や、八重山における日本本土の庭園文化の伝播をみることのできる事例として、造園史上の意義が深いと考えられる。

官 報 告 示：平成 24 年 1 月 24 日付け文部科学省告示第 14 号



9. 新たに県の指定になった文化財

(1) 有形文化財（絵画）の指定

①紙本着色東任鐸（知念里之子親雲上政行）画像

種別 沖縄県指定有形文化財（絵画）
 名称及び員数 紙本着色東任鐸（知念里之子親雲上政行）画像 1幅
 附 『教訓十箇条』 1幅
 掛物入箱 1箱

形状 掛幅装
 寸法 (画像) 縦 123.0 cm 横 67.0 cm
 (教訓十箇条) 縦 125.0 cm 横 52.0 cm

所在地 石垣市字登野城 4-1
 石垣市立八重山博物館

所有者 知念政信

指定理由

《基準》

沖縄県文化財の指定・認定・選定および選択基準（昭和 52 年沖縄県教育委員会告示第 4 号）

第 1 県指定有形文化財指定基準

1 絵画、彫刻の部

(2) 沖縄の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの

《指定する理由》

本図は首里士族の東任鐸（日本名は知念政行）の肖像画である。東任鐸は首里士族の東氏十一世で、肖像画制作時は里之子親雲上であるが、その後親方まで昇っている。本図は東任鐸 61 歳のときに描かれたものである。画面上部の東任鐸自筆自賛によると、1835 年（道光 15）から 1838 年（道光 18）まで八重山島在番として赴任している。この肖像画は東任鐸が首里に帰着した翌年の 1839 年（道光 19）に絵師に描かせ、八重山の現地妻との間にもうけた息子（真山戸）へ送ったことが分かる。箱書きには、「道光二拾年庚（子カ）二月仕立掛物入箱 知念真山戸」と墨書されている。

附の『教訓十箇条』は 1861 年（咸豊 11）8 月に、知念親方政行が八重山島石垣目差知念仁屋に与えたものであるが、落款はない。真山戸が二十歳になって首里に上った時に改めて贈られたものと考えられる。

像主の東任鐸は琉装に大帯を締めて腰掛け、右手に金箔を散らした白扇を半開きにして持ち、黄冠（帕）をかぶっている。やや卵形の顔や眉毛、髭などの描写、冠や衣服の唐草模様など細部にわたって、丁寧な描写となっている。作者は未詳であるが、肖像画制作にいたる背景を考えると、首里周辺で活動していた絵師を想定することができる。

顔は陰影法を用いて写実的に描き、像主の人格や身体的特徴を表現している。それに対して首から下の部分と衣服や背景は平面的に処理され、面貌の描写を強調している。冠や衣装、帯の模様が丁寧に描写されているのは、冠や衣装の柄、色、素材によって身分が示されるためである。

本図は石垣島に伝来したものであるが、首里士族を描いた現存する数少ない肖像画である。画賛により制作の経緯も

明らかであり、首里の絵師によって描かれたものと思われる。陰影法を取り入れ



た様式は中国、朝鮮、日本などの東アジアの肖像画における琉球の肖像画の特徴をよく示すものである。琉球絵画史上、極めて貴重な作品であることから、指定し、保存・継承を図る必要がある。

②紙本着色宮平長延画像

種別	沖縄県指定有形文化財（絵画）
名称及び員数	紙本着色宮平長延画像 1幅
形状	掛幅装
寸法	縦 101.0 cm 横 81.5 cm
所在地	石垣市宇登野城 4-1 石垣市立八重山博物館
所有者	官良長政
指定理由	

《基準》

沖縄県文化財の指定・認定・選定および選択基準（昭和 52 年沖縄県教育委員会告示第 4 号）

第 1 県指定有形文化財指定基準

1 絵画、彫刻の部

(2) 沖縄の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの

《指定する理由》

本図は大浜間切の頭職等を勤めた宮平長延の肖像画である。画面いっぱいに人物を描き、龍模様の大帯と緑地に唐草模様の琉縫い衣裳をまとい、唐草模様の黄冠（帕）をかぶり、右手に扇を持ち、顔はあごが細く、やや色黒の白髭の翁が赤地に菊唐草模様の赤い袴（しとね）の上に胡座した構図となっている。

長延は 1674 年（康熙 13）に生まれ、1749 年（乾隆 14）に獄中で自決している。『山陽姓系図家譜』（宮良家）によれば、1691 年（康熙 30）に欵髻（かたかしら）を結び、宮平仁屋を名乗る。1726 年（雍正 4）に黒嶋首里大屋子となって、1728 年（雍正 6）に黄冠を賜り、1730 年（雍正 8）に大浜間切の頭職に任じられている。

本図は 1745 年（乾隆 10）に長延が上国した際に描かれたと考えられ、巧みな筆致や他の琉球の肖像画と共通する構図から、当時の王府の絵師を含めた首里周辺で活躍していた絵師の手によるものと思われる。面貌および像主の冠や衣裳、帯の様子は、丁寧に描写されている。

本図は琉球王朝時代の八重山土族を描いた現存する数少ない作品である。琉球人の手による肖像画の特徴をよく示すものであり、琉球絵画史上、極めて貴重な作品であることから、指定し、保存・継承を図る必要がある。



(2) 有形文化財（歴史資料）の指定

①蔵元絵師の画稿

種別	沖縄県指定有形文化財（歴史資料）	
名称及び員数	蔵元絵師の画稿 114点	
形状	紙本	
寸法	別紙の通り	
所在地	石垣市宇登野城 4-1	石垣市立八重山博物館
所有者	石垣市	
指定理由		

《基準》

沖縄県文化財の指定・認定・選定及び選択基準（昭和 52 年沖縄県教育委員会告示第 4 号）

第 1 県指定有形文化財指定基準

6 歴史資料の部

- (3) 沖縄の歴史上重要な事象又は人物に関する遺品で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの

《指定する理由》

画稿は、近世琉球時代の末期から明治初期にかけての八重山地域の社会や民俗などの日常生活を白描等で楮紙に描いてある。作者は王国時代末期、八重山島蔵元の絵師として活躍した喜友名安信や宮良安宣などの絵師で、彩色画稿 6 点を含む 114 点からなる。

本画稿は、鎌倉芳太郎が 1923 年（大正 12）に琉球美術の調査のため石垣島に赴いた際、作者の一人である宮良安宣より譲られた経緯があり、1975 年（昭和 50）、鎌倉から石垣市に寄贈された。

画稿を描いた蔵元の絵師は、地図の作成や外国船漂着の際の記録係のほか、年中行事や諸儀式の風俗を写すなど、仕事は多岐にわたった。

本画稿には、外国船到来に備えた習作と目される「異人風俗図」や「異人の図」、贈答品と目される「機織女の図」・「布晒の図」・「弥勒の行列」などがあり、いずれも写実的に描かれ、近世琉球期の社会・民俗を知る貴重な資料となっている。

蔵元絵師は試験により選抜されて首里王府に研修派遣されており、王府の絵師とも交流があったことがわかる。画稿には「白澤、道士の図」「男女の図」や「士族と平民の図」など、自了の作品や近世末期に描かれた風俗画の画題と通ずるものがあり、絵画が琉球



王国内で重層的な広がりを示していたことを裏付けるものとなっている。王国時代、中国から輸入された顔料は王府から八重山蔵元へも配給されていて、中国渡来の「朱」「ヤンチン（洋青）」などの顔料について具体的な記述がある画稿は貴重な記録となっている。

本資料は近世琉球の八重山蔵元絵師による画稿がまとまって伝存したもので、描かれた図は画稿でありながら記録性が高く、近世八重山における社会や民俗等を示す資料としてきわめて貴重であり、指定し保存・継承を図る必要がある。

(3) 有形文化財（考古資料）の指定

① 古我地原貝塚出土品

種 別・有形文化財（考古資料）

指定年月日・平成23年12月13日

員 数・古我地原貝塚出土品 234点

（土器30点、石器101点、貝製品58点、骨製品39点、石製品6点）

所 有 者・沖縄県

所 在 地・西原町字上原193番地の7（沖縄県立埋蔵文化財センター）

説 明・うるま市石川字伊波小字古我地原に所在する古我地原貝塚から出土した考古資料である。

同貝塚は台地上に居住地区域、崖下に貝塚を形成する沖縄貝塚時代前期前半（縄文時代中期末～後期初頭相当）の一般的な立地形態を示すが、出土土器の大半が奄美系土器と称されている一群で占められる点に大きな特徴がある。

この資料は、沖縄自動車道の建設に伴う発掘調査によって出土したものである。なお、沖縄自動車道の東側に遺物包含層が現在も残っている。

資料の内訳は土器・石器・貝製品・骨製品・石製品である。土器は在地製の伊波式土器や仲泊式土器に加えて、面縄前庭式土器や面縄東洞式土器、嘉徳Ⅰ式A土器、嘉徳Ⅱ式土器等の奄美系土器が出土している。特に、面縄前庭式土器は全形を把握できる資料が多数含まれており、本型式の特徴を示すものとして重要である。また、面縄前庭式土器と仲泊式土器の中間タイプの土器が出土し、仲泊式土器の出自を解明する上で重要な資料も出土している。石器は石斧・敲打器・磨石などがみられ、とりわけ敲打器類が豊富に出土している。貝製品は装飾品と思われる小玉が特徴的で、同時期の遺跡では県内でも類をみない出土量を示している。骨製品は漁具の可能性が考えられるヤス状の刺突具や、クジラやジュゴンの骨を用いた骨輪の出土が目される。石製品は勾玉状製品や蝶型骨器の祖形とみられる彫刻石製品などが得られている。

本件は、当該期における沖縄貝塚時代前期前半の土器編年研究に大きく寄与する資料であるとともに、往時の生活様式や奄美諸島との交流を考える上で貴重な資料であることから、指定し保存・継承を図る必要がある。

公 報 告 示・平成23年12月13日付け、沖縄県教育委員会告示第14号



古我地原貝塚遺物集合写真（沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵）

② 下田原貝塚出土品

種別・有形文化財（考古資料）
員数・下田原貝塚出土品 209 点
（土器 1 点、附土器片 85 点、石器 45 点、骨製品 26 点、貝製品 137 点）
所有者・沖縄県
所在地・西原町字上原 193 番地の 7（沖縄県立埋蔵文化財センター）
説明・八重山郡竹富町字波照間小字下田原に所在する下田原貝塚から出土した考古資料である。

下田原貝塚は、戦後の沖縄考古学の本格的な出発地となった遺跡であり、また先島先史時代編年の標識遺跡として位置づけられるなど、学史上重要な遺跡である。昭和 31 年 10 月 19 日には、遺跡の一部が琉球政府埋蔵文化財に指定された。

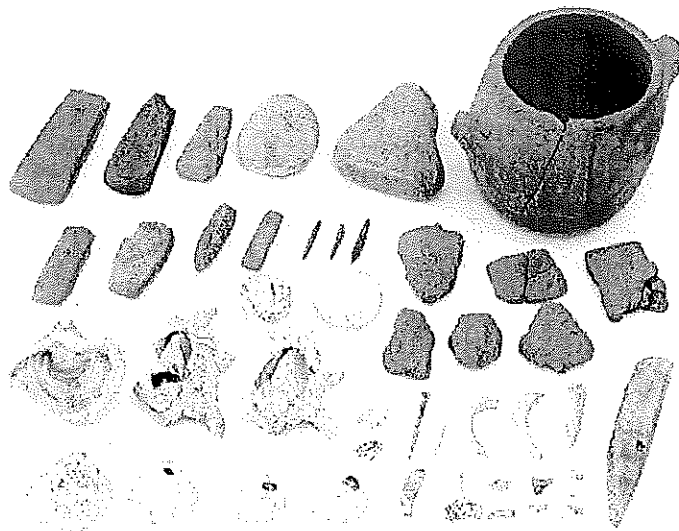
本指定物件、史跡指定範囲地周辺部で発掘されたものである。出土地は史跡指定地の北端部に位置する。

資料の内訳は土器・石器・骨製品・貝製品で、今回指定するのは昭和 58 年から昭和 60 年の 3 ヶ年にわたって沖縄県教育委員会が発掘調査を実施した時の資料である。土器は破片資料が多い中で牛角状把手を持つ平底の鍋形土器が 1 個体得られ、初めて下田原式土器の全形が把握された資料となった。

石器は局部磨製石斧を含む多様な石斧や敲石・磨石のほか、他遺跡では出土例の少ない小形の尖頭器類が出土している。骨製品及び貝製品は、豊富なバリエーションを示す骨針・骨錘・イノシシ牙製品・サメ歯製品・螺蓋製敲打器・スジガイ突起部加工品・貝垂飾品等がある点で注目される。

本件は、先島諸島における先史時代の文化様相を端的に示す好資料であるとともに、未だ解明されていない先島先史文化の起源や土器編年及び文物の流入経路などを考える上で重要な資料であることから、指定し保存・継承を図る必要がある。

公報告示・平成 23 年 12 月 13 日付け、沖縄県教育委員会告示第 15 号



下田原貝塚遺物集合写真（沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵）

10. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災関係機器の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等
イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市町村	所 有 者	平成23年度	合 計	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城	中村国宏	1,080	20,241	(昭55～平23)
	上江洲家住	久米島	上江洲智一	480	16,905	(昭54～平23)
	喜友名泉	宜野湾	知念清栄他	117	1,639	(平5～平23)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	3,008	(平15～平23)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	1,098	(平17～平23)
合 計				1,961	42,891	

11. 文化財愛護事業

(1) 「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年36点(11校)、小学校3・4学年99点(19校)、小学校5・6学年140点(21校)、中学校82点(21校)、高等学校27点(6校)、合計384点(63校)の応募があった。

審査会：平成23年10月7日(金)14時～17時30分 県立武道館 第二錬成道場

審査員：嶺井 秀夫(義務教育課指導主事) 仲間 吉信(県立学校教育課指導主事)

渡久山英雅(総務課主任指導主事)

池原 盛浩(県立博物館・美術館 博物館班 主任学芸員)

大城 仁美(県立博物館・美術館 美術館班 主任学芸員)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月1日(火)15時より、県庁舎4階講堂で行い、10月31日(月)～11月4日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	伊良部時将(宮島小)	照屋まひる(カトリック小)	伊集愛美(具志川小)
優秀賞	花城さくら(カトリック小) 入江友晟(普天間小)	下地凜々子(平良第一) 千葉亮賀(カトリック小)	町田芽唯(カトリック小) 納山優梨(中原小)
佳作	河野瑠導(カトリック小) 石渡大希(カトリック小) 安里太希(カトリック小) 上原愛音(カトリック小)	上間はる香(カトリック小) 石渡源希(カトリック小) 志喜屋翔伍(中原小) 金城凜子(城西小)	兼久涼斗(古堅南小) 大城盛竜(松川小) 仲宗根由紀(渡慶次小) 山川実玖(南風原小) 塩川桃香(伊野田小)
入選	8名	8名	9名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	幸良友希(浦西中)	新垣ナオ(開邦高)
優秀賞	知花ゆい(琉大附属中) 仲間美幸(具志川中)	仲里晴香(浦添工業高) 大城亜衣(島尻特支高等部)
佳作	宮里優花(桑江中) 知念重志(城北中) トプソン ケイラアン(仲井真中) 與儀友理恵(豊見城中) 城間鈴惟(大里中) 譜久村紗愛(平良中)	宮城文(開邦高) 勝連雪月(開邦高) 稲嶺和音(開邦高) 宮城佳菜子(島尻特支高等部)
入選	6名	6名

(2) 平成23年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成22年度「私たちの文化財」図画作品募集中学生の部 最優秀作品「天女橋」(島袋彩さん 受賞当時、西原町立西原中学校 3年)、並びに、中学生の部 最優秀作品「轟の滝」(我那覇有紀さん 受賞当時、西原町立西原中学校 2年)を原面にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

12. 世界遺産・無形文化遺産登録関連事業

(1) 世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定事業

①事業の概要

平成23年7月に文化庁を経由してユネスコ世界遺産センターに提出済みである「世界遺産の保存状態等に関する定期報告」の作成に併せ、平成23年度及び平成24年度の二カ年事業として、「包括的保存管理計画」の策定事業を実施する。包括的保存管理計画とは、世界遺産としての価値を保ち続けるために、9つの資産を保存管理するための計画で、緩衝地帯における土地利用規制等との具体的な連携方法、地域住民生活や観光との調和を主目的とする。本事業は二カ年間に渡る策定事業で、平成23年度は県内外の有識者を検討委員に委嘱し、また文化庁主任調査官及び世界遺産関連市村の文化財・観光・都市計画担当者をオブザーバーとして迎え、3回の検討委員会を開催した。

②世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定委員会

ア)平成23年7月13日(南部合同庁舎) 第1回検討委員会

イ)平成23年12月21日(南部合同庁舎) 第2回検討委員会

ウ)平成24年3月12日(南部合同庁舎) 第3回検討委員会

平成23年度は県内資産の状況等の把握、調査結果のまとめと体制整備に関わる課題、保存管理計画の理念と基本方針及び考え方について審議した。

③世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」包括的保存管理計画策定事業の事業費並びに検討内容

年度	委員会	検討議題	事業費
平成 23 年度	第1回	①包括的保存管理計画策定の必要性の確認 ②計画策定の進め方の検討 ③基礎調査の内容の検討	総事業費： 16,166千円
	第2回	①当該文化遺産の現況等の把握 ②世界遺産の保存管理などの動向把握 ③当該文化遺産の保存管理に関わる課題の検討	平成23年度： 10,588千円
	第3回	①当該文化遺産の保存管理に関する課題の確認 ②包括的保存管理計画の理念と基本方針に関する検討 ③各項目に関する基本的な考え方の検討	平成24年度： 5,578千円

(2) 「組踊」ユネスコ無形文化遺産代表一覧表記載関連事業

「組踊への招待」

総事業費：10,280千円

①事業の概要

「組踊」が平成22年11月に、ユネスコ無形文化遺産の代表一覧表への記載がなされたことを記念して、「組踊」のさらなる保存継承と普及発展を期すために下記の事業を実施した。

②シンポジウム

『組踊の魅力～その普遍性と可能性～』

惹 句： 人間国宝が、第一線の研究者が、「組踊の魅力」を語る。

人間国宝の実演による「組踊」技法の紹介あり！

開催趣旨： 組踊の魅力について、そうそうたる組踊の実演、研究の第一人者たちが、組踊初心者的一般の人向けに、それぞれの立場から、その魅力について存分に語り伝えた。

内 容： 第1部 芸能史の中の組踊 第2部 舞台芸能としての組踊

コーディネイター： 上地和夫氏（第1部）、大城學（第2部）

パネリスト： 第1部 三隅治雄・宜保榮治郎・田中英機・大城學

第2部 上地和夫・織田紘二・宮城能鳳・城間徳太郎・西江喜春

日 時： 平成23年8月7日（日）午後1時30分～4時30分

会 場： 国立劇場おきなわ小劇場

入 場 料： 無料

共 催： 国立劇場おきなわ運営財団 伝統組踊保存会

後 援： 琉球新報社 沖縄タイムス社 琉球放送株式会社

沖縄テレビ株式会社 琉球朝日放送株式 NHK沖縄放送局

③公 演

公演①「組踊の未来へ」

惹 句： 今をときめく若手実演家による究極の古典、新作の2本立て！

組踊創始者 玉城朝薫の最高傑作「執心鐘入」（古典）と芥川賞作家大城立裕によるその後日譚。味わい深い時代喜劇「さかさま執心鐘入」（新作）

開催趣旨： 古典組踊と古典を踏まえた新作組踊を、未来を担う若手実演家で上演することで、組踊の歴史（古典）を踏まえた未来（新作）を展望した。

内 容： 古典組踊『執心鐘入』と新作組踊『さかさま執心鐘入』上演

実演団体： 沖縄芝居実験劇場

『執心鐘入』

監修／指導 宮城能鳳

立方：中城若松／佐辺良和 宿の女／新垣悟 座主／宇座仁一 小僧1／東江裕吉

小僧2／宮城茂雄 小僧3／阿嘉修

地謡：歌三線：神谷大輔、玉城和樹、大城貴幸 箏／久貝栄喜 笛／入嵩西論
胡弓／森田夏子 太鼓：久志大樹

『さかさま執心鐘入』

演出／嘉数道彦 演出助手／川満香多 振り付け／阿嘉修 音楽／仲村逸夫
立方：中城若松／佐辺良和 女1／金城真次 女2／石川直也
玉城朝薫／大湾三瑠 座主／宇座仁一 小僧1／東江裕吉
小僧2／宮城茂雄 小僧3／阿嘉修

地謡：歌三線／新垣俊道、仲村逸夫、喜納吏一 箏／久貝栄喜 笛／入嵩西論
胡弓／森田夏子 太鼓／宮里和希

日 時： 平成23年8月20日（土）午後2時～4時
会 場： 国立劇場おきなわ大劇場
入 場 料： 無料
共 催： 国立劇場おきなわ運営財団 伝統組踊保存会
後 援： 琉球新報社 沖縄タイムス社 琉球放送株式会社
沖縄テレビ株式会社 琉球朝日放送株式 NHK沖縄放送局

公演②「組踊のシマジマへ」

惹 句： シマジマ（村々）に息づく組踊の魅力！
楽しい年末は、沖縄版『忠臣蔵』で！

開催趣旨： 宮廷芸能や商業芸能とは異なる地域に根付いた組踊を上演すること
で、組踊の芸能としての広がりと多様性に触れてもらった。

内 容： 地方の組踊「忠臣蔵（伊江村）」上演

実演団体： 組踊「伊江島の忠臣蔵」国立劇場公演実行委員会

日 時： 平成23年12月4日（日）午後6時～8時

会 場： 国立劇場おきなわ大劇場

入 場 料： 無料

共 催： 国立劇場おきなわ運営財団 伊江村教育委員会

後 援： 琉球新報社 沖縄タイムス社 琉球放送株式会社

沖縄テレビ株式会社 琉球朝日放送株式 NHK沖縄放送局

③「組踊」普及書の作成

古典、新作、地方の組踊の紹介を通して組踊の全体像がつかめるようにし、また従来の解説書の有りように拘泥せず、多面的な視点から組踊の魅力に迫る、専門家や愛好家を対象としない、一般向けの「組踊」普及書を作成し、公演会場や関係機関や図書館、小中高等学校に配布することで組踊の普及を図った。

④「組踊」鑑賞用DVDの作成

組踊公演を高画質録画して、従来作製されてきた記録や単なる演目紹介ビデオではない、映像作品として鑑賞に耐えるビデオを制作して、国立劇場おきなわのレファレンスルームをはじめ、県内の主要機関等に配布し、鑑賞できるようにすることで組踊の普及に資することを目指した。